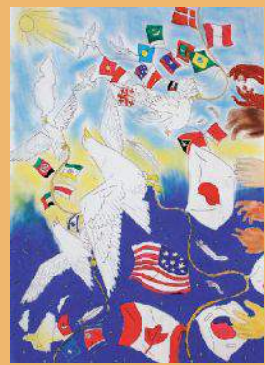


国際会長テーマ

「I Believe ～信じる」

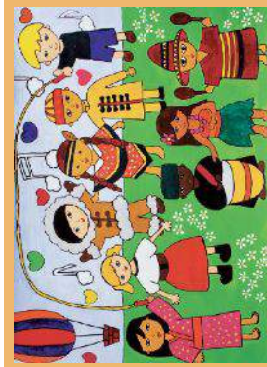
ウィンクン・タム



井上 睦貴様
京都市立伏見小学校 6年
(京都市伏見区)



磯部 祐女様
京都市立納所小学校 6年
(京都市L.C.)



常盤 綾様
奈良県立小 6年
(奈良市L.C.)

第24回国際平和ボスターコンテスト最優秀作品 地区ガバナー賞3点

公式訪問

今の特集

第24回国際平和ボスターコンテスト
2011年度夏期YCEレポート

ガバナーテーマ

「信義を律し友誼の確立は明日への橋梁」

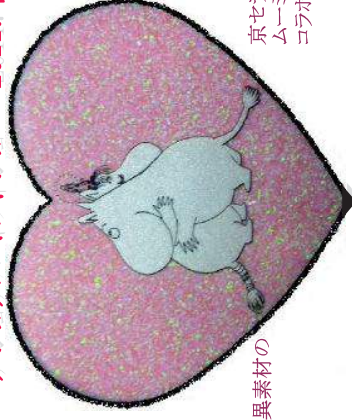
アクティビティスローガン

「和みと千思万考で最良の奉仕」

株式会社 樹下

<http://www.juge-kyoto.com>

東京インターナショナルギフトショー 2011. 秋 出品商品



樹下は天然石と様々な異素材の
新商品を提案しています。

京セラ(株)開発の【京都オパール】と
ムーミン(公)ライセンス取得)の
コラボレーション商品です。

〒600-8189

京都市下京区東洞院五条下ル二丁目福島町515番地
TEL: 075-352-5198(代)

FAX: 075-352-5578

担当: 小泉 裕子

L樹下 茂善 (京都南LC)

伝統建築の粋を集めた極上の家造り

当社「山米工務店」は、歴史の街京都で
百有余年の永きにわたる実績と、
伝承され続けてきた「匠の技」、
また現代を生きる自由でモダンな発想を礎に、
他社には真似できない「極上の家造り」を
ご提案いたします。



株式会社 山米工務店

〒600-8191京都市下京区高倉通五条下る堺町21番地
Tel 075-351-4988 / Fax 075-371-5139
URL <http://www.yamayone.jp>
E-MAIL yamayone@d5.dion.ne.jp

L山本 裕之(京都南LC)

「バトンタッチ」ガバナー帰朝報告会

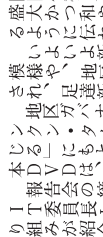
◆日 時 2011年8月4日(木) 13:30~ ◆場 所 リーガロイヤルホテル京都



ガバナーの報告



ガバナーの報告



ガバナーの報告

ガバナーの報告

お盆休み明けの8月4日(木)の午後10時30分より足達ガバナーに、幹事、会計、年次大会委員長、PR・情報委員長が随行して京都市役所市長室に門川 大作市長を来訪訪問しました。

ガバナーより、今年度就任の挨拶があり、市長よりお祝いの言葉が述べられました。

引き続き、京都市長へ記念品のバナー、多目的ビン、名刺入れを贈呈した後、市長自ら、多目的ビンをスリーブにお着けになりました。

又、話の中で、ライオンズクラブ、レオクラブとこれからの世代に向けての話が盛り上がり、日頃よりガバナーとの親交のある市長におかれ、終始和やかな親交となりました。

(京都市長訪問には、京都桃山LC上橋村 芳和のご協力を頂きありがとうございました。)

お盆休み明けの8月4日(木)の午後10時30分より足達ガバナーに、幹事、会計、年次大会委員長、PR・情報委員長が随行して京都市役所市長室に門川 大作市長を来訪訪問しました。

ガバナーより、今年度就任の挨拶があり、市長よりお祝いの言葉が述べられました。

引き続き、京都市長へ記念品のバナー、多目的ビン、名刺入れを贈呈した後、市長自ら、多目的ビンをスリーブにお着けになりました。

又、話の中で、ライオンズクラブ、レオクラブとこれからの世代に向けての話が盛り上がり、日頃よりガバナーとの親交のある市長におかれ、終始和やかな親交となりました。

(京都市長訪問には、京都桃山LC上橋村 芳和のご協力を頂きありがとうございました。)

第1回キャビネット会議開催

◆日 時 2011年8月4日(木) 15:00~ ◆場 所 リーガロイヤルホテル京都



ガバナーの報告



ガバナーの報告



ガバナーの報告



ガバナーの報告



ガバナーの報告

お盆休み明けの8月4日(木)の午後10時30分より足達ガバナーに、幹事、会計、年次大会委員長、PR・情報委員長が随行して京都市役所市長室に門川 大作市長を来訪訪問しました。

ガバナーより、今年度就任の挨拶があり、市長よりお祝いの言葉が述べられました。

引き続き、京都市長へ記念品のバナー、多目的ビン、名刺入れを贈呈した後、市長自ら、多目的ビンをスリーブにお着けになりました。

又、話の中で、ライオンズクラブ、レオクラブとこれからの世代に向けての話が盛り上がり、日頃よりガバナーとの親交のある市長におかれ、終始和やかな親交となりました。

(京都市長訪問には、京都桃山LC上橋村 芳和のご協力を頂きありがとうございました。)

お盆休み明けの8月4日(木)の午後10時30分より足達ガバナーに、幹事、会計、年次大会委員長、PR・情報委員長が随行して京都市役所市長室に門川 大作市長を来訪訪問しました。

ガバナーより、今年度就任の挨拶があり、市長よりお祝いの言葉が述べられました。

引き続き、京都市長へ記念品のバナー、多目的ビン、名刺入れを贈呈した後、市長自ら、多目的ビンをスリーブにお着けになりました。

又、話の中で、ライオンズクラブ、レオクラブとこれからの世代に向けての話が盛り上がり、日頃よりガバナーとの親交のある市長におかれ、終始和やかな親交となりました。

(京都市長訪問には、京都桃山LC上橋村 芳和のご協力を頂きありがとうございました。)

京都府知事来訪訪問



残暑厳しい中、去る8月17日(水)の午後2時より、足達ガバナーに、幹事、会計、年次大会委員長、PR・情報委員長が随行して京都府庁知事応接室にて、山田 啓二知事を来訪訪問しました。

ガバナーより今年度ガバナーに就任された旨の挨拶があり、知事よりお祝いの言葉が述べられ、日頃のライオンズクラブの協力への感謝の意が伝えられました。

続いてガバナーより、記念品を贈呈され(バナー、多目的ビン、名刺入れ)、この記念品は歴史ある京都・滋賀・奈良のPRを含むデザインであるとの説明がなされました。

又、ガバナーよりライオンズクラブを取り巻く環境、現在の状況等についてお話しされ、8月発刊のサ・ライオンタイムスに目を通された知事より女性メンバーのクラブ、会長にについても質問がなされました。約45分に渡る来訪訪問でした。

(京都府知事訪問には、京都みやびLC上植田 喜裕のご協力を頂き有難うございました。)

京都市長来訪訪問



お盆休み明けの8月17日(水)の午前10時30分より足達ガバナーに、幹事、会計、年次大会委員長、PR・情報委員長が随行して京都市役所市長室に門川 大作市長を来訪訪問しました。

ガバナーより、今年度就任の挨拶があり、市長よりお祝いの言葉が述べられました。

引き続き、京都市長へ記念品のバナー、多目的ビン、名刺入れを贈呈した後、市長自ら、多目的ビンをスリーブにお着けになりました。

又、話の中で、ライオンズクラブ、レオクラブとこれからの世代に向けての話が盛り上がり、日頃よりガバナーとの親交のある市長におかれ、終始和やかな親交となりました。

(京都市長訪問には、京都桃山LC上橋村 芳和のご協力を頂きありがとうございました。)

2011年度夏期 YCE 来日レポート



「忘れられない思い出」
リン・カ・キン (台湾)
LIN CHIA CHEN

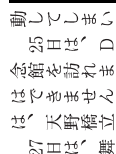
第一ホストファミリー 舞鶴LC、辻様
第二ホストファミリー 長尾LC、廣部様と藤木様
私にとって、この三週間は、人生の中で一番忘れられない思い出です。



7月19日に関西空港に着き、舞鶴の辻お父さんとお母さんが私を迎えてくれました。22日には、辻お母さんと車でYCE活動に参加しました。スイスからのDominiと私と一緒に台湾からきたTinaと着物博物館で着物の体験や、西陣織を体験しました。とても楽しかったです。それは本当に美しい芸術品でした。そして、妙心寺へ行きました。日本式の庭はとても素敵だと思いました。また、そこで食べた精進料理も美味しかったです。24日には、辻ファミリーと一緒に車で金剛寺と清水寺へ行きました。清水寺は一番好きだった所だったので、それを見たととき、心から感動してしまいました。日本へ来られて本当に幸せだと感じました。



25日は、DominiとTinaと新幹線で広島へ行き、平和記念館を訪れました。そこではとても悲しい気持ちになり、楽しむことはできませんでした。平和は一番大切なことだと学びました。26日には、天守閣立へ行きました。大自然がとても素晴らしいかったです。



27日は、舞鶴滞在最後の日です。送別会をしてもらって本当に感動しました。



28日、8月8日返、第一ホストの長浜に滞在しました。廣部ファミリー、藤木ファミリーが、琵琶湖や伊勢神宮等、色々な所へ連れて行ってくれました。



8月4日には長浜の花火大会を見に行きました。そんな美しい花火を見たのは初めてで、とても楽しかったです。

日本の皆さんは、本当に私に親切してくれました。とても素晴らしいキムステイでした。また、機会があれば是非日本へ来たいと思います。皆さん有難うございました。

2011年度夏期 YCE 来日レポート

ドミニク・シエルツ (スイス)
Dominic SCHERZ
ホストファミリー
京都ミレニアムLC: 仲島様
7月14日より約2週間、来日学生
のドミニク君を、京都ミレニアム
ライオンズクラブの仲島がホストファ
ミリーとして受け入れ頂きました。べ
ジタリアンで食事に少し気を配いま
したが、明るく立派なよい青年で、
和やかな雰囲気ですごくすることがで
きました。



スイスの山



アルプホルン

2011年度夏期 YCE 派遣レポート


波も通じず周りにほにもいない山の中にあ
りました。キャンプでは一班8人くらいの班に分
かれて行動しました。班分けはランダムであつた
ため、いろんな国の人たちと仲良くなれるいい機
会となりました。この左の写真は毎日行かれてい
た夜のキャンプファイヤーの写真です。ここでは
キャンプに参加している皆が集ま
り、団らんの場所となっていまし
た。班が違っているため普段喋る
機会のない人たちともここで喋る
ことができるため、とてもいい場
所でした。英語があまり喋ること
のできない私でも、いろんな人が
喋りかけてくれるため、とて
もよい時間となり
ました。


これはキャンプの皆でユニバー
サルスタジオにいったときの写真
です。ここでは班などは関係なく

派遣先: アメリカ (MD 4)
京都京洛LC: 松村 崇司

一週目

一週目は海外のライオンズク
ラブなどから派遣された人たちと
のキャンプでした。空港から二時
間かけてついたキャンプ場は、電



行動できたため、皆自分の国の人たちとまわって
いました。キャンプ中のいい息抜きとなり、とて
もいい時間でした。



これは最終日の写真です。最終
日の後は皆で写真を撮る時間に自
然となつていって、たくさんの写
真を皆がとりあつていて、普段あ
まり喋ることのなかった人々でも、
写真をとり合っていました。



キャンプの印象としては、初め
はアジア、日本に対する知識があ
りなかったのか、慥然されてい
ると感じる部分も少しありましたが、最終的には
このように打ち解けることができよかったです。
ただ日本人というのを理解してもらうのに時間が
かかったし、もう少し文化の発表の時間を早くし
てもらえると、もっと仲良くなれ
たのかと思います。ただこのキ
ャンプで普段触れ合うことのないよ
うなヨーロッパの人たちと仲良く
なれることができよかったです。



二週目以降

キャンプ場から5、6時間かけてホームステイ
させていただく一家の家につきました。TAKA
SHIと大きく名前の書いたボードを持ってまわ
りまわっていて、恥ずかしいのといつしよに

滋賀県知事表敬訪問

清涼しい秋晴れの10月4日(火) 午前11時に滋賀県行にガバナール足達
靖彦(第一副地区ガバナール南清右衛門、キャビネット幹事)八木克
之(キャビネット会計)林寛登が滋賀県知事を表敬訪問されました。
足達ガバナールより知事へバナール、バッジ等の記念品を渡され今年度のガ
バナール就任のご挨拶をされた。

滋賀知事、足達ガバナール共に教育者であられる関係上、教育界における
話題でお話が盛り上がり、滋賀知事の専門分野であります環境問題から災
害の話題となり、関西の水脈である琵琶湖の保全、湖岸整備事業、河川整
備事業、植樹事業に取り組み自然保護活動を行っており、水源の森維持活
動に努力されているとお聞きし、自然維持に取り組みの必要性を改めて実感
させられました。



又、滋賀知事よりライオンズク
ラブの活動に対して動かしのお言
葉を頂戴し約30分に渡る表敬訪
問を終えました。

奈良県知事表敬訪問

秋晴れの爽やかな11月18日(金)の午後1時30分より地区ガバナール
足達靖彦(第一副地区ガバナール南清右衛門、キャビネット幹事、8R1Zゾー
ンチエーパーソン)と林寛登(9R1Zゾーニンチエーパーソン)と中西 秀和、
PR・情報委員長が随同行して奈良県知事室にて荒井 正吉知事を表
敬訪問しました。

ガバナール足達靖彦より今年度ガバナール就任の挨拶をされ、更にこの
度の台風12号による災害見舞いの言葉が述べられた後ライオンズクラブ
335C地区からの義援金1000000万円に渡る支援の報告がなされた。
知事よりお祝いの言葉が述べられ、災害支援のお礼と日頃のライオンズ
クラブの協力への感謝の意が伝えられました。

ガバナール足達靖彦より記念品の贈呈(バナール、多目的ビン、名刺
入れ、記念品等)についてガバナールより歴史ある奈良県
のPRを含むメッセージであることご説明がなされた。

知事より奈良県、奈良市の歴史等説明を頂戴し、約20分に渡る表敬
訪問を終えました。



2011年度夏期 YCE 来日レポート

貴重な楽しい時間をありがとうございました。

ティ・イー・ファン (台湾)

Yi Fen Zheng

第一ホストファミリー 京都むらさきLC: 村山様

第二ホストファミリー 京都バレスLC: 大江様

みなさんこんにちは。ティナです。この度は、とても貴重な留学の
体験をすることができとても楽しかったです。このような素晴らしい
機会を作ってくださったライオンズクラブ国際協会335-C地区の
皆様に心より感謝申し上げます。

前半お世話になった家庭では、清水寺や妙心寺など世界的に有名な
お寺めぐりや四条の繁華街でのショッピングなどとても楽しい体験を
することが出来ました。着物を着て花を生けたり、西陣織の体験をす
るなど日本の伝統文化に触れることができとても興味深かったです。

また後半お世話になった家庭では同世代の兄弟がいたので、一緒に
サル山にサルを見物に行ったり、USJに行ったりしてとても楽しかつ
たです。また、トロッコ列車や保津川下りなど日本でもしか味わえない
貴重な経験をすることができました。特に京都バレスライオンズの例



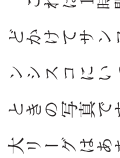
会で行った高雄の料理屋さんとはとても印象に残ってい
ます。川辺で船釣りをしたり川遊びをしたりとても楽
しい体験でした。今回の留学で得た貴重な経験を大切
にして大学生活に生かしていけるよう頑張りたいと思っ
ています。本当にお世話になりました。



最後になりましたが、今回の留学に際して御協力を
いただきましたすべての皆様に感謝いたします。今後
はもっと留学生の輪を広げて、早く世界が一つになる
ことを願っています。本当にありがとうございました。



2011年度夏期 YCE 派遣レポート



とても嬉しかったです。ホームステイ先の家は、おかあさんのMelissa、おとうさんのJoe、三女のKiana、長男のJoe、二男のMarcusの5人家族でした。かわいい犬も五匹いて、猫も二匹いました。お父さんとお母さんは自分たちの会社で働いているため、忙しいにもかかわらず、いろんな場所に連れて行ってくれました。



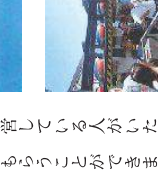
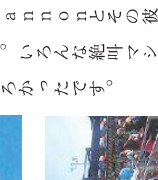
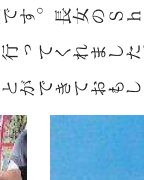
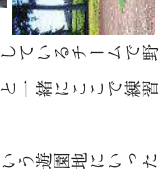
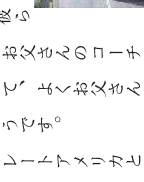
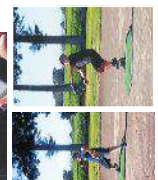
これは1時間ほどかけてサンフランシスコにいったときの写真です。大リーグはあまり興味がないのですが、野球好きということもあり、サンフランシスコを本拠地とする、ジャイアンツのスタジアムツアーに連れて行ってくれました。ホストファミリーはこのジャイアンツの大ファンで、彼ら自身が行きたかったというのもあったそうです。彼らもこのツアーは初めてで、とても感動していました。僕もこのような大きな球場を中からみたことがなかったので貴重な体験でした。この後街中に出て、いろんなところに行きました。

Marcusの運転で学校の校庭での野球の練習にもついていきました。彼らは二人ともお父さんのコーチしているチームで野球をしていて、よくお父さんと一緒にここで練習しているそうです。

これはグレートアメリカという遊園地に行ったときの写真です。長女のShannonとその彼女が連れて行ってくれました。いろんな絶叫マシンにのることができておもしろかったです。



お母さんの友達に牧場を経営している人がいたので、そこにも連れて行ってもらうことができました。牧場というのは京都ではよくあるところですが、牧場という場所だ



たので、とてもいい経験になりました。

これはこのホームステイの最後の日に野球につれて行ってもらった写真です。この写真からもわかるように、とても近い場所で見ることができて本当におもしろかったです。試合中に運よくファウルボールを手に入れることもでき、それをお母さんにわたしたところ、そのボールにその目球場にきていたバリーボンズのサインをたまたまもらうことができて家族はみんな興奮してとてもよろこんでいました。

僕はこのホームステイを通して、とてもよい経験ができたし、アメリカにもう一つの家族ができたようなとても不思議な感じでした。時間はいくらでもあるので、休みがきたらすぐにでも会いに行きたいと思っています。その時のためにも英語を覚えてもっとコミュニケーションが図れるようにしておきたいとおもいます。



2011年度夏期 YCE 派遣レポート

デンマークの魅力
派遣先：ヨーロッパ（デンマーク）
京都シニアLSC 片桐 享子
まず、はじめに受け入れ先のお宅に到着して思ったのが、とても自然が多いことである。到着したその日に、玄関先で野生のリスを見ることが出来た。そして、二日目にホストシスターと街を散歩しに行った時に思ったのが、空がとても高かった。派遣された街は首都のコペンハーゲンから離れているわけではないのだが、大きい建物があるわけでもないのに、その影響もあってか、空がとても高く思えたのだ。
それだけではなく、デンマークの人はとてもおおらかなのも、魅力の一つではないだろうか。ホストファミリーもそうなのだが、家族の周りの人たちもとても優しく良い人ばかりだった。デンマークが、愛が溢れる街と呼ばれているのはそういう人たちがたくさん、いるからではないだろうか。
また、男女平等の国という印象が強かった。ホストファミリーはホストファミリーもマザーも共働きであったが、マザーはいくらか帰りが遅くなってきても一から晩飯を作ってくれて、ファミリーは時間があれば家の掃除をしていた。マザーが帰りが遅いときはファミリーとシスターと一緒にご飯を作った事もあった。マザーもファミリーもお互いにお互いに感謝をしていたし、お互いの意見を尊重し合っているようにも見えた。
私が今回留学したことで得たことは、人として大切なことばかりだと思う。おおかであること、人を愛すること、自分と言うものをしっかりと持つことである。とても良い経験になったと思う。

YCEプログラムを通して
派遣先：ヨーロッパ（オーストリア）
京都バレスLSC 仁科 真衣
私は、京都バレスライオンズクラブにスポンサーをして頂き、7月15日から8月10日までYCEプログラムを通して、オーストリアに約1ヶ月間派遣して頂きました。
私は今までヨーロッパに行った事が無かったので、どんな国かどんな人があるのか全く予想が出来なかったのが不安はありました。オーストリアに着いた翌日から2週間のキャンプだったので、良い人がある事を願ひながらキャンプ地へ向かいました。キャンプでは、日本以外から、ヨーロッパ各国（イタリア、フィンランド、スペイン、ノルウェーなど）、インドネシアやカナダから派遣生が来ていました。ほとんどの派遣生の母国語が英語では無い事から、みんながお互いを理解し合う努力をしながら楽しく過ごしました。
キャンプでは、たくさん観光地に連れて行って貰い、伝統的なオーストリアのご飯など様々な歴史を学びました。オーストリアは中世の建物がたくさんあり、音楽では有名なベートーベンやバッハなど、歴史が感じられる国で凄く素晴らしいなと思いました。天井や壁には豪華な装飾を見る事もでき、日本のアカベラとか聞いたアカベラのコンサートにも行かせて貰い、音楽の文化にも触れる事が出来たので良かったです。
今回のオーストリアへの派遣を通して日本とは全く違った歴史が学べ、色々な国の人と交流をする中で日本のすばらしさも知って貰えたと思います。



2011年度夏期 YCE 派遣レポート

ニュージーランド派遣を通して

派遣先：ニュージーランド
舞鶴 LC 辻 安彦子

ニュージーランドは、自然がとても豊かで、町を出ると30度どこを見ても緑でした。空気がきれいなおかげで、昼の空は真っ青、夜は天の川がはっきり分かるほど星がよく見えます。道路の上には羊や牛がいるのも当たり前で、日本では見られない光景です。私は、3週間、この大自然の中で素晴らしい体験をさせていただきました。

遠い国からはるばる来たにもかかわらず、ホストファミリーはみな親切に接してくれました。初めは話す言葉が早すぎて聞き取ることに精いっぱいになっていましたが、だんだん慣れてくると簡単な単語ですが、ニュージーランドのことについて質問したり、日本のことを話してあげたりできるようになっていました。英語で会話をすることが楽しくなり、もっといろいろなことを知りたいと思うようになりました。

また、日本との文化の違いを理解できたと思います。第一ホストは農家の方でしたが、毎日牛にとうとう草をやり、十分な大きさに成長させるとそれを売りに行くといった大変な仕事です。体験



したことのないことばかりで、これまで何気なく食べていた肉はこの人たちが作ってくれていたと知ると、驚きや感謝などいろいろなことを考えさせられました。

ニュージーランドに行って、英語の勉強にもなりましたが、それ以上に他の国の暮らしを学ぶことで日本のことをよく考えるようになったと思います。このような貴重な体験をさせていただいてありがとうございました。



アメリカの家族、世界の友達

派遣先：アメリカ (MD4)
奈良西 LC 田中 希幸

7月24日、8月28日の5週間、CAに行って来ました。7月24日から2週間は南部のベレンデールでホームステイ。LAから車で2時間。のどかで、夕日や星が綺麗なお所です。ホストファミリーはマザー・フアザーの2人。日本人4人でのステイ。近住の娘さんが6歳、3歳、11ヶ月のベビードールと犬と猫と魚とか。英語が通じず辛かった時、子供3人に何度も癒されました。別れの時、手紙と家の鍵を買いました。いつでも帰ってきてね、希幸も家族だからと。家族として接しられ、本当に幸せでした。

8月7日から一週間約70人のYCE生でのキャンプ。カルチャリーシアリングでは、私達は浴衣姿で東日本大震災等日本を紹介しました。様々な国の人と出会え、自分の世界も広がり、今でもフェイスブック等で連絡をとっています。食事や地元のライオンにお世話になりました。

8月14日から最後2週間、州都サクラメントでのホームステイ。SFから2時間弱。古い街並みが残る歴史ある町です。2日目タホという所に行き、急遽一泊。またSFへ行き、ゴールデンゲートブリッジを見たりテーマパークにも行きました。ホストファミリー・マザーは共働きだったので、他のライオンにお世話になりました。

不安ばかりのスタートでしたが、貴重な経験の連続でした。多くの人と出会え、その分別れはありましたが、この出会いは一生大切にします。家族と離れて普段と違って大事にされているかに気付きました。

最後にこの様な貴重な経験ができ、機会を与えて頂いたライオンの皆様に感謝申し上げます。



「二十歳になつての留学・・・」

派遣先：オーストラリア
京都むらさき LC 新川 恵理

高校を卒業してから留学の機会というのが全くありませんでしたが、たまたま「これどうや？」と言われ勧められたのがYCEの派遣留学でした。年末に決まり、オリエンテーションを重ねる度に、楽しみではなく不安しかありませんでした。自分の英語力がとことん落ちていると言った現実：「こんな程度やたらわかってたのに・・・」でことごとく初めは一切からず戸惑いでした。こんなんでは、何こういけん！と思いは半分ぐらゐ諦めてました。仕事をしていたら中々機会がない分、これ逃したら・・・と言う気持ちがあつていくことを決意しました。八月一日出発の日、母の送迎に行つたとき、本間に帰りたい。と思つていました。みんな賢そうで現役学生。絶対馴染めんわ。と思つていました。乗り換え・乗継を繰り返してやつと思つて着きました。

「とぞらいと来てしまふ」と思つていました。でも、ホストの方はとても優しくなつてくれたママさんでした。そこで初めて安心することが出来ました。今思えば毎日が本当に充実していました。いい経験ばかりで向こうのライオンズクラブの方々も、本間にいい人だらけでした。コミュニケーションの取り方とか初めは本間難しい！と思つていましたが、気づけば何か馴れ込んでたかな？とも思います。一か月なんかも本間に長すぎるわ！と思つていたのですが、「一瞬」でした。

日本にいるより住心地がよかつたかもしれません。笑上手にはまだめられません。一つひとつの出来事を、一生忘れません。本間にいい経験ばかりでこういう機会を与えてくださったライオンズの方々にも感謝しております。ありがとうございました。



沢山の出会い

派遣先：ヨーロッパ (チェコ、スロバキア)
京都淀 LC 朝倉 郁恵

私はYCEで沢山の様々な忘れられない楽しい経験をしました。これは私の自慢の思い出です！



やはり、生活や文化の違い、食べ物の違いなどで上手にいかないこと。飛行機の欠航や、ホームステイ先の家族と空港で出会うことが出来なかったなどの予想もしていないバグニングや、言葉の壁にめげそうになつてネガティブになつてしまうこともありました。でもその度ホームステイ先の家族や、初対面の沢山人々、そして日本にいる家族が助けてくれました。私を受け入れてく

ださつたホストファミリーはチェコ、スロバキアどちらのご家庭も大変親切にしてくださり、有名な建造物や世界的に有名な町に連れて行つてくださり、文化の違いや国の歴史を私が理解できるまで我慢強く教えていただきました。そして何より家族の一言のように私に接してくださいました。見ず知らずの私を抱きしめてくれたり、お皿洗いを一緒にしたり、本当に毎日が心を温かくする出来事といっぱいでした。そして日本から離れ一人遠く国で生活したことによって私の家族への感謝の気持ちも以前より強いものになりました。

このYCEの経験を糧にしてこれからの学生生活、人生を更に充実したものになろうと思います。本当に私にこの様な貴重な機会を与えてくださつてありがとうございました。





2011年度夏期 YCE 派遣学生歓送会

◆日 時 2011年6月24日(金) 18:00~20:00 ◆場 所 リーガロイヤルホテル京都

2011年6月24日、リーガロイヤルホテル京都にて「2011年度夏期YCE派遣学生歓送会」が開催されました。
奥村地区ガバナー、足達第1副地区ガバナー、植田地区キャビネット幹事、松山地区キャビネット会計、地区YCE委員会をはじめ、保護者の方々やスポンサークラブの皆様にも多数ご参加頂き、派遣前の楽しい時間を過ごすことができました。
今回の派遣学生は、男子1名・女子6名の計7名で、派遣先はオーストラリアを皮切りに、アメリカ・オーストラリア・ニュージーランド・ヨーロッパ(デンマーク、チェコ・スロバキア)と、多方面への派遣となり、それぞれの思いを胸に秘め、不安なことや期待していることなど、全員がズートチをしてくれました。
派遣学生全員が、無事に、そして更に成長して帰国することを確信し、会を終了いたしました。

2010・2011年度地区YCE副委員長
(2011・2012年度 地区YCE委員長)

木下 昌平



2011年度夏期 YCE 来日学生歓迎会

◆日 時 2011年7月20日(水) 17:30~ ◆場 所 リーガロイヤルホテル京都

去る7月20日に、スイス・台湾から3名の来日学生を迎えて、「2011年度夏期YCE来日学生歓迎会」が京都市内で開催されました。
足達地区ガバナー、第第一副地区ガバナー、見玉第2副地区ガバナーをはじめ、ホストファミリー並びにホストクラブの皆さんにも多数ご出席をいただき、和やかなひと時を共有することができました。
まず、はじめに足達地区ガバナーから「日本の古語、日本の原点に直に触れていただくと共に今後も後遺症が色濃く残っているが、日本人の東日本大震災の復興に対する意気込み・熱い心を良く見ていただきたい。」との挨拶がありました。
次に、木下地区YCE委員長から「短期間ではありますが、日本の普段の生活を通して色んな思い出づくりにいそいそしてください。」と励ましの言葉がありました。
この後、南第一副地区ガバナーのご発声で乾杯を行い、会食に移りました。この間適宜、3名の来日学生のスピーチがあり、ホストファミリーやホストクラブへの感謝の気持ちと日本について積極的に学ぼうとする強い意欲を学生の皆さんから感じ取ることができました。
最後に、見玉第2副地区ガバナーが閉会の挨拶をされ、楽しい歓迎会をお開きにしました。

地区YCE副委員長 小松 義明



ライオンズクエストプログラムセミナー開催

7月20日(水)13:30より、リーガロイヤルホテル京都にて、大型台風6号の来襲もあり、一時は中止も考えましたが、キャビネットの行事、ライオンズクエストの月末よりのワークショップの実施を控え、ライオンズクエストプログラムセミナーを予定通り実施させて頂きました。
台風の影響の残る中、特定非営利法人・青少年育成支援フォーラムより長沢 有華講師を迎え、地区ガバナー 足達靖彦、名誉顧問・元協議会議長・335複合地区ライオンズクエスト委員長 八島 隆、第一副地区ガバナー 南 清右衛門、第2副地区ガバナー 見玉 保次、各ゾーン・チエアパーソン、各クラブメンバー、総数111名の参加のもとライオンズクエストプログラムセミナーを開催。
地区ガバナー 足達靖彦より、ライオンズクエストに長年関わられた経験より、ライオンズクエストの説明を詳細に渡り分かりやすく行っており、出席者にご支援、ご協力賜りたいと、また、学校の先生に対してもワークショップへの受講を働きかけていただき、ワークショップの受講を推進願いたいと挨拶をされました。
複合地区ライオンズクエスト委員長 八島 隆より、ライオンズクエストに取り組んだ経緯、及び、ライオンズクエストの意義を説明され、ライオンズクエストに情熱をかけていることを、熱烈に挨拶されました。
長沢講師より、ライオンズクエストの概略、参加者参加の「自信を持った時」「自信を無くした時」をテーマに対話、ライオンズクエストプログラムの中より、「聞き上手」を取り上げ、参加者全員が二人一組になり体験、プログラムの極一部であるが、どの様なことを少しはご理解いただけたかなと思います。全国のライオンズクエスト状況等の説明があり、最後に、活発な質疑応答が交わされ、出席者の中より、終了後、出席して良かった、今、日本の青少年には必要なことと思う、是非、協力していきたいとお話も頂き、盛況のうちに終了いたしました。

地区ライオンズクエスト委員長 下田 吉美



「明日の青少年を考える会」

平成33年8月11日(木) 15:00より、リトガロイホテル京都に於いて、「明日の青少年を考える会」が開催されました。地区ガバナー上足達靖彦を始め、第1副地区ガバナー上南清石衛門、第2副地区ガバナー上兄玉原次、地区キャビネット幹事上八木克之、地区キャビネット会計上林高彦、335複合地区レオ委員長上大石博之、1R上9Rのソニン・チェアパソンの皆様、地区VC委員上長山下昌平、地区役員の皆様、8351C地区各クラブの会長、幹事、関係委員、レオ地区会長、元レオ地区会長の出席が有り、総勢90名という多数のご出席を頂きました。

開会挨拶として地区レオ・青少年指導委員長上吉田利之より、レオ指導、育成について、日頃のお礼として、若者は国の大切な財産でありますので、次世代を担う指導者として、その機会を与え縁を重ねてもらふ事が素晴らしい人生を築き上げる機会になると思います。青少年健全育成はライオンズクラブのかけがえのないアクティビティですので、本日有意義な意見交換ができれば幸いです、と、挨拶されました。

地区ガバナー上足達靖彦より学生レオの立ち上げの経緯や今後について、青少年指導についてはなるべく沢山の大学生に薬物乱用防止教育認定講師養成講座を受けてもらう事が、学園の中から卒業生が活躍の環境作りが生まれてくるのではないかと、という内容の挨拶を頂きました。

335複合地区レオ委員長上大石博之より、全国的に見ても一般レオは減少傾向をたどってきてはいますが、高校生、大学生を中心とした学生レオが増えつつある傾向にあります。そんな中、薬物に関する青少年の健全育成につつましめても皆様方のお力を頂いて、この地区からはそういった問題が起こらない様になれば幸いです。

京都府からは、京都府健康福祉部、薬務課長 原田克也様、薬務課副査 中川拓也様にお越しいただき、京都府の取り組み、

- 1) 薬物乱用のない社会づくりの為のきょうとうプランについて
- 2) 薬物乱用防止行動府民会議の設置について
- 3) 薬物乱用防止に係る大学内の対策イメージ
- 4) 薬物乱用防止情報センターからの情報発信について
- 5) 薬物依存者・家族に対する府北部地域移動相談事業及び再乱用防止教育事業の開始について、

京都府薬物乱用防止対策について五つの取り組みを講演頂きました。

10分間の休憩を挟み16:00から 社団法人 座くらゐ 奈良タルクテイクアセンター長 伊藤宏基様より「薬物依存症の解決」のタイトルでご講演を頂き、体験を交えたお話で、大変分かり易く又皆さんが真剣に聞いている間に、早くも時間が来たという感じでした。自分も薬物依存症にかか

り、どうにもならなかったところ、奈良タルクに助けられ完全に立ち直り、今では奈良タルクテイクアセンター長を務め、薬物依存症患者さんが薬物から解放されるためのプログラムを持つ民間の薬物依存症リハビリ施設で本人への指導はもちろんのこと、そのご家族の相談までされているという事でした。

最後に、ゲスト3351C地区会長上森口忠義より、「レオ地区について」今期のレオ地区会長上森口は「生きる」を掲げ東日本大震災で多くの方が亡くなり今も放射能漏れ等と、2次、3次被害にあわれています。そんな中、私達に出来ること、今を生きる活動をしたいと思っています。10月23日にはスポーツ大会で各クラブとの交流を図り、また、学園レオOBさんや一般レオクラブに勧誘すべく、理学院レオさん達とも大切に交流したいと思っています。又、11月27日の統一アクティビティでは「今出来る活動を行います。5月20日には第37回レオクラブ大会を行いますので、皆様多数のご参加をお願いしたいと、要約がありました。最後に地区レオ・青少年指導副委員長上松本守史より、私達委員会も青少年達の健康な体作りと健全な精神が宿る様に地道な活動を行って行きたいと思っています、どうか皆様方も今日のお話を各クラブに持ち帰って頂きご協力をお願い申し上げますと閉会の挨拶があり、17:00に閉会いたしました。

地区レオ・青少年指導副委員長 川嶋 洋一



献血・聴覚障害者福祉委員長会議

8月24日(水) 奈良 飛鳥荘で8R上9R、8月26日(金) リトガロイホテル京都で1R上5R、8月29日(月) ポストンプラザホテル草津で6R上7R、地区献血・聴覚障害者福祉委員長会議が奈良県医療政策部業務課様、京都府健康福祉部薬務課様、滋賀県健康福祉部医療業務課様、3地区赤十字血液センター様、京都市聴覚障害者協会様、京都市手話通訳問題研究会様を賓賓に迎え、そして3351C地区ガバナー上足達靖彦より挨拶を頂き、多数の地区役員のご参加を得て盛大に執り行われました。

杉本委員長が開会の挨拶で、前年度に引き続いて「献血ゼロクラブを出さない」を重点に、その対策として献血カードを作成し、少しでも採血量の増加を図る様にしたいと、その為には何時何処で、献血活動が行われているかを、リアルタイムに情報が提供出来る様な、システムを構築したいとの思いを述べられました。最近特に若年層の献血者減少傾向にある為、啓蒙活動も兼ねて「いのちと献血俳句コンテスト」の参加を呼びかけ、併せて企業・団体の献血サポーターへの登録もお願されました。

聴覚障害者福祉については、デフビジュアルによる聴覚者支援事業に対する補助金の申請と、手話の勉強会を通じて、手話を広める運動を展開したいと方向性を示されました。

又、足達地区ガバナーの献血事業の重要性と、聴覚障害者支援事業の参加を積極的に取り組んでほしいと述べられました。続いて感謝状の贈呈が行われ、3351C地区前地区ガバナー上奥村啓二上ライオン、前年度委員長 西原 三弥、副委員長 伊藤 武宏、藤井 勝也、足立 豊彦各ライオンと、1R上9Rの献血功労クラブが感謝状を頂きました。

奈良県 赤十字血液センター所長 森田 倫史様より「献血事業の現状について」、京都府 赤十字血液センター副所長 伊藤 俊之様より「最近の献血事情について」、滋賀県 赤十字血液センター所長 小笹 宏様より「滋賀県の現状とお願いについて」のご講演を賜りました。

献血に関する知識と理解を得る貴重なお話で、今後の献血活動を展開する中で、大いに参考になる事と思います。そして3351C地区のこの献血事業について重要性を改めて感じました。

又、京都市聴覚障害者協会南支部長 本間 英史様、京都市手話通訳問題研究会副会長 高野 三智子様より「手話を広めよう」と題したご講演が行

われました。手話は言葉である 健常者と障害者がお互いのコミュニケーションをとるには、その手段として手話が重要との事で、手話講座を広く進めたいと述べられ、初対面での挨拶、自己紹介などを教えて頂き、練習も行われました。

今回の会議を通じて参加者の皆様から、献血・聴覚障害者福祉事業についての更なるご理解を頂いた良い会議であったと思いました。

地区献血・聴覚障害者福祉委員会



ウインクン・タム国際会長公式訪問

D.F.ウインクン・タム国際会長は、去る8月30日午後9時過ぎに関西国際空港に到着され、日本の公式訪問がスタートしました。

翌31日の午前、大阪市長でありライオンでもいらっしゃる平松大阪市長を表敬訪問されました。平松大阪市長は、夕刻から開催されました国際会長公式訪問にもご臨席を頂きご祝辞を賜りました。

さて、いよいよ午後2時から334複合地区、337複合地区を対象としたセミナー・公式訪問・歓迎晩餐会が開催されました。

まずセミナーは、3000人あまりの地区役員や各クラブ会長が、国際会長と膝を付き合わせた雰囲気の中、親しく会談が進みました。国際会長からは、国際会長のテーマや環境保全と会員の融和の両面策に繋がる観点からの1000万本の植樹について、事細かくご説明があり、拝聴したライオンは、国際会長の心意気と気さくな人柄に触れ、満面の笑みを湛えながらセミナーの場所を後にしました。

セミナーを終えしばらくの休息の後、午後4時30分から、いよいよ国際会長公式訪問並びに歓迎晩餐会となりました。

やはり主たる会になります。総勢500名ものライオンが出席し、国際会長のご来訪に心からの歓迎を表しました。山浦国際理事の国際会長ご紹介の中で、国際会長は「公式訪問はまず日本からスタートしたい……」とのご希望の言葉があり、国際会長のお心遣いに感動と感謝の念で感無量となりました。ご出席の方々も同様の思いでおられたことでしょう。

会は、国際会長スピーチ、平松大阪市長のご祝辞、国際会長からの感謝状の拝受等々、一連のセレモニーを終え歓迎晩餐会に移りました。歓迎晩餐会では、会場が和やかになるとともに国際会長との写真撮影が殺到し、国際関係委員会の方々は国際会長に食事を取って頂かなければならず、国際会長の周りの整理に廻り立てられました。ご苦労様でした……。

しかし国際会長は、国際関係委員会の方々のご苦労に感謝しながらも、気軽に写真に納まっておられました。

会は、概ね3時間におよぶ長時間でしたが、出席された方々は、国際会長を間近に拝顔出来、また親しくお言葉を交わすことが出来、満たされた笑顔で家路に付かれました。

ウインクン・タム国際会長は、翌9月1日8時過ぎの新幹線で東京へと移動され、334複合地区、337複合地区の国際会長公式訪問を無事終えることが出来ました。国際関係委員会のご尽力に心から感謝を申し上げます。



ガバナー公式訪問 初日ゾーン(4R3Z)



ウエインA.マデン国際第一副会長公式訪問並びにセミナー

定刻の午後2時、337複合地区ガバナー協議会議長と梅幸雄の開会の言葉、引き続き山浦国際理事のご挨拶後、335複合地区・336複合地区・337複合地区合同のウエインA.マデン国際第一副会長公式訪問並びにセミナーが開催されました。

まず東日本大震災をイギリスで知り、震災のあまりの大きさに非常に心を痛めてられること、日々日本のライオンからLCIDへの献金に感謝するとともに、今回の大震災に対しては、日頃の日本の志を踏まえて、震災当日LCIDで緊急援助金について協議し即座に対応されたこと、この対応から国際協会として日本を重視視しているかご理解頂きたいと語られました。

引き続き、2016年に福岡で国際大会が開催される旨、日本から国際会長の擁立を心待ちにしているとも語られました。

やはりセミナーのメインは、ウインクン・タム国際会長の方針でした。ウインクン・タム国際会長は、シド・スクラッグス前国際会長の心を引き継ぎ、マイクラブとマイファミリーを大事に考え、国際会長と各クラブの会長によるセミナーを持ち、世界各地のクラブは何を思い、どのような活動をしているかを知り、また伝えたいと考えられ、現在進行中とのことでした。

国際会長が提唱されている一つに1000万本の植樹があり、世界各地で取り組んで頂いていますが、あるメンバーから「1600万本にしてはどうか……」との提案がありました。

現在1700万本まで達成しているとのことでした。植樹は環境保護の一環でもありますが、若いライオンを育てる観点からも似ているところがあります。「植樹も植えるだけではダメですね、植えてから水を与えたり、肥料を与えたり、アフターケアが大切です……」

このことと同じで、新人会員も入会されてからのアフターケアが大切だと説明されておられるとのことでした。

次にメンバーシップの取り組みに2点取り入れられるよう提言されています。まず第一点は「女性会員の増進・女性会員に役職を・女性会員のセミナーを数多く開催」等々に取り組むことが急務です。第二点目は、レオを如何に充実させるかがこれからの課題で国際会長は、レオの育成に努力を傾けておられます。レオからライオンに発展する確率は現在のところ2パーセント足らずで、如何にレオからライオンへの発展を促すかに取り組むことが肝要であるとされ、次回の国際大会ではレオリライオンの繋がりについてもセミナーを開催する予定とのことでした。日本でもこのようなセミナーを開催を依頼されました。

セミナーの締めくくりに「自身の向上と奉仕の質をあげる。我々は、メルビンジョーンズのようにならなければならない……」とアドバイスされ、セミナーの幕を閉じました。



全クラブYCEセミナー開催

2011年9月20日(火) リーガロイヤルホテル京都にて「全クラブYCEセミナー」を開催いたしました。

足達地区ガバナーをはじめ、キャビネット役員、各ゾーン・チャーターン、各委員会委員長、各クラブ会長・幹事・YCE委員長と多数のご参加を頂きました。

セミナーは、二部構成で、前半、地区YCE委員長木下昌平の開会挨拶で始まり、地区ガバナー足達靖彦の挨拶で、YCEの50年の歴史とYCEの基本をお話し頂きました。

次に、ゲストスピーカーとして、335総合地区YCE委員長吉田宏よりYCEについてのスピーチを頂きました。吉田からは、前335-B地区ガバナーとして現状、YCE事業に大変強い335-B地区の取り組みについて、お話し頂きました。

続いて、もう一名ゲストスピーカーとして、前地区ガバナー奥村啓二より、過去YCEで地区及び複合の委員長として活躍されていたお話し及び今後の335-C地区としてのYCEの取り組みを、叱咤激励を込めてお話し頂きました。

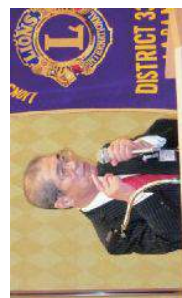
後半、YCE(青少年交換)事業について、地区YCE委員長木下昌平よりあらかじめ基本的な質問を委員会で作成し、問答形式によるYCE事業の基本的説明がありました。

続いて、トークディスカッションで、地区YCE副委員長山岡はづきの進行でパネラーとして、前地区YCE委員長上川勝文男、ホストファミリー経験者及び派遣学生保護者のお立場で、愛知ライオンズクラブ伊谷満、YCEOB生の佐藤亜紀さんに登壇頂き、それぞれの経験談をお話しされました。

最後に、地区YCE副委員長小松義明より、閉会の挨拶で締めくくられました。

今回のセミナーは、YCE事業への関心が薄れている事を危惧し再度、基本に立ち返り今一度、各クラブでYCE事業への関心を深めるセミナーとなりました。

地区YCE委員長 木下昌平



全クラブPR・情報委員長並びにIT委員長会議

9月26日(月) リーガロイヤルホテル京都にて 全クラブPR・情報委員長並びにIT委員長会議が開催されました。

地区ガバナー足達靖彦を始め、キャビネット幹事、キャビネット会計、キャビネット役員、各ゾーンチャーターン、全クラブ担当委員長(約115名)の出席により司会者 地区PR・情報副委員長山田中浩の宣言にて開会し、全同会議の幕が上がりました。

地区IT副委員長上村孝士より地区ガバナー足達靖彦始め地区役員の紹介がなされ、引き続き地区PR・情報委員長山岡 勲の開会のご挨拶で、委員会より「ザ・ライオンタイムス」への記事掲載、商業広告掲載の協力をお願いされました。

地区ガバナー足達靖彦のご挨拶では今年度のガバナー方針でもあるパワー5の意味の説明からライオンズクラブの活動にはメンバー増強は欠かせないとの強い思いが伝えられ、その上でPRの必要性、ITを駆使した活動の必要性から、今年度の地区HPの完全リニューアルによるライオンへの情報伝達、ノンライオンへの広報など詳しく述べられました。

今年度の会議は、2部構成で開催されました。

第一部では、ザ・ライオンタイムスについての説明を地区PR・情報副委員長山田中浩よりさせて頂き、今年度は4回の発行予定である事が伝えられ、更に各クラブより活動、アクティビティ等記事投稿の要請をされました。

第24回国際平和ポスターコンテストについての説明を地区PR・情報副委員長山岡 勲よりさせて頂き、ポスターのテーマを始め、審査方法、応募方法、注意点、締切について説明がなされました。

今年のテーマは『Children Know Peace』(重・子供達は平和を知っている)

今回の目的、内容は、平和の大きさを一層深く考え、世界の子供達が一人一人にとって平和とは何かを表現して下さい。と言う事です。

過去にも335-C地区からは多くの優秀作品が選出されている事もあり、今回も素晴らしい作品が応募され、複合地区へ、そして国際本部へお届け出来る作品が寄せられる事を期待するとともに、来期の更なる多数の参加をお願いされました。

ポスターコンテスト スケジュール

クラブよりキャビネットへの作品受付締切り	2011年10月21日(金)
地区審査会 リーガロイヤルホテル京都	2011年10月28日(金)
京都会場 日図デザイン博物館	2011年11月13日(日)
滋賀会場 東近江市立八日市文化芸術会館	2011年11月27日(日)
奈良会場 奈良県文化会館	2011年11月20日(日)

次に、ブログとホームページについて地区IT委員長北岸秀規、地区IT副委員長山岡 勲より詳しく説明されました。

地区ガバナー足達靖彦の強い思いにより今年度完全リニューアルされたHPの運用方法(日々更新されるガバナーブログ、各クラブの報告、委員会報告のページ開設、地区への各種申請書の発行方法等)や、関係者の皆さんが何時でも、何処でも地区HPを閲覧できるQRコードの説明がなされました。

第二部では、地区PR・情報副委員長山岡 勲により講師の紹介がなされました。今年度の講師は、宗教法人石清水八幡宮 宮司、宗教法人神社本庁総長の 田中 恒清様に講演をお願いし、『杜と中々』と題してお話を頂き、人の心、文化、歴史、等幅広く聞いて頂きました。

最後の結びには、地区IT副委員長山田中浩の閉会の挨拶があり幕を閉じました。

地区PR・情報委員長 山岡 勲



大学生対象 薬物乱用防止教育認定講師養成講座

◆日時 2011年9月25日(日) 13:30~16:30 ◆場所 御所西 京都平安ホテル

2011年3月の第1回に引き続き、第2回を2011年9月25日(日)13:30より、京都府健康福祉部薬務課、ライオンズクラブ国際協会335-C地区、(財)麻薬・覚せい剤乱用防止センターの3団体が主催となり「大学生対象 薬物乱用防止教育認定講師養成講座」が京都平安ホテルにて開催されました。

第1回目は、ライオンズクラブ国際協会335-C地区と(財)麻薬・覚せい剤乱用防止センターの主催でしたが、この活動に京都府健康福祉部薬務課が賛同され、今回は3団体の共催となりました。

受講生として、市内の大学生、専門学校生の77名が受講し、335-C地区より地区ガバナール足達靖彦、第1副地区ガバナール南清行衛門、第2副地区ガバナール児玉保次、地区キャビネット幹事八木克之、地区レオ・青少年指導委員会、京都府健康福祉部薬務課より薬務課長原田克也様、同副課長横田薫様、また講師として京都府警察本部刑事部組織犯罪対策第三課指導係長辻健様、京都府健康福祉部薬務課副主査中川拓也様、京都翔英高等学校副校長(地区ガバナール)足達靖彦様、(財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター企画部長阿部俊三様の4名を迎えての開催となりました。

まず開講にあたり、地区ガバナール足達靖彦より、現在学生の間で薬物乱用、特に大麻から始まり、違法ドラッグに拡大する事の歯止めとなり、麻薬汚染の現状を認識してもらい、この講座を受講する事で学生に薬物乱用防止教育認定講師の資格を取得させ、その学生リーダーを核として防止を目指したいと開催の趣旨説明をされました。

続いて、京都府健康福祉部薬務課長原田克也様より、現在の薬物汚染の実態を詳細に説明され、この講座の持つ意味の大きさと、ライオンズクラブの活動に期待していると挨拶されました。

最初の講座は、ビデオ「タメ。ゼツタイ。」薬物乱用防止教育ビデオが15分間あり、基礎講座「医学知識」「薬物乱用と身体への影響」を土浦環ライオンズクラブ所属の医学博士万本盛三様編集のビデオにより麻薬による脳の破壊について30分の説明があり、最近の大学生の間で大麻汚染の広がりを危惧している旨を充分説明された。

次の専門講座「行政事情1」「薬物事件捜査の状況など」を京都府警察本部刑事部組織犯罪対策第三課指導係長辻健様から捜査の状況と取締りの難しさを訴えられ、休憩をはさんで専門講座「行政事情2」「京都府における薬物乱用防止対策について」を京都府健康福祉部薬務課副主査中川拓也様の講義を受け、専門講座「行政事情3」「教育現場より」京都翔英高等学校副校長(地区ガバナール)足達靖彦様の講義に続き、専門講座「ライオンズクラブ国際協会における薬物乱用防止活動の実践」の講義まで2時間以上に及ぶ講義を受講された。最後に地区レオ・青少年指導委員長吉田和子より、日々青少年の健全育成を考え、薬物に汚染されていく青少年を救うためにも、大学生を対象とした薬物乱用防止教育認定講師の資格を持つ大学生が今後、小・中・高校生への啓蒙活動として活躍して頂く事を願って、今回の講座開講の目的が無事果たせた事に対して、本日出席された学生達と関係各位に感謝の意を述べられ、閉講の挨拶といたしました。

地区レオ・青少年指導副委員長
奥村 幸夫



堺港発電所ならびに堺太陽光発電所見学会



9月28日、環境保全委員会では、関西電力堺港発電所及び堺太陽光発電所視察研修会を開催しました。

目的は、東日本大震災以来、改めて日本のエネルギーを考える機会を持ち、原子力リスク、安全性やエネルギー確保の将来について学ぶことでした。

55名という参加者でバス2台、早朝より京都を出発、午後より視察、節電、液化天然ガスによる火力発電、そして広大な土地に太陽光発電パネルを敷き詰めたメガソーラー発電について夕方まで勉強させて頂きました。

原子力発電について専門家の詳しい説明があり、関西電力と方式の違いなど多くの知識を得ることが出来ました。

改めてエネルギーのあり方について、一人ひとりが関心を持ち、議論することが大切だと感じました。

地区環境保全委員長 武田 恭和

335複合地区LCIFセミナー開催



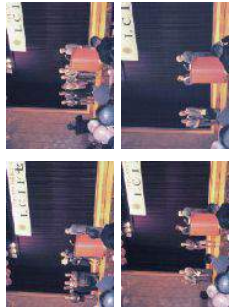
平成23年9月30日(金)、335複合地区LCIFセミナーがリーガロイヤルホテル大阪にて開催されました。定刻の午後2時、司会の335複合地区LCIF委員長上西浦裕巳が開会を宣し、複合地区LCIF委員長上寺田茂治の開会挨拶に続き、複合地区ガバナリー協議会議長上野野の開会挨拶をされました。お三方共に3月11日の東日本大震災と9月に発生した台風12号、15号による被害に対して、今後もLCIFによる支援が待たれるところであると力説されました。その後、元国際理事上亀井良次の挨拶に続き、セミナーの講師としてLCIF資金開発課の田辺憲雄課長が紹介されました。

田辺課長はご自身が制作された資料を基にLCIFについて丁寧に説明されました。その中で、LCIF一般交付金の申請については3つの分野があり、その1つは人道的奉仕で、具体的には医療サービスの拡張、老人・ホームレス・危機にある子供達に恩恵をもたらす事業、発展途上国における学校設立等、その事業により多くの困っている人達が助かることがポイントになるとのこと。その2つは盲人及び障害者奉仕。その3つは災害復興で、この3つの分野に入らない事業は一般交付金には申請できないと説明されました。

申請を断った事例の具体的な説明は非常に分かり易く、また、申請書作成は心算に訴える嘆願書は避けて、事業の有益性及び困っている人がどれくらい助かるかなどを英訳しやすい言葉を使って表現する必要を説かれました。

質疑応答の後、田辺課長に対し聴衆者全員から大きな拍手があり、複合地区LCIF委員長上野野の開会挨拶で大変有意義なセミナーは終了しました。

地区LCIF、助力ファースト、歳費推進副委員長 上中井從道



きょうと薬物乱用防止行動府民会議設立総会

—平成23年度麻薬・覚せい剤乱用防止運動京都大会—

10月9日(日)午後2時より、京都産業大学8階シムホールにおいて、「きょうと薬物乱用防止行動府民会議設立総会」が開催された。

「きょうと薬物乱用防止行動府民会議」は、京都府民、特に青少年の薬物乱用ゼロを目指して、関係者やライオンズクラブを初めとする関係団体等が協力・協働して、薬物乱用防止に係る啓発活動、情報交換などを実施し、京都府民一人ひとりの薬物乱用に対する認識を高めることを目的として新たに設立された。その設立総会として、従来まで実施されていた「麻薬・覚せい剤乱用防止運動京都大会」を兼ねて開催される運びとなった。

ライオンズクラブ国際協会335-C地区の1Rから4Rまでの地区役員、ソニン・チャペーパーソン、各クラブ会長、幹事、担当委員長をはじめ多くのライオンズメンバーと京都府薬物乱用防止指導員協議会、京都府薬業団体連合会、国際ソロプチミスト、335-C地区の他、多くの一般市民が参加して、盛大に開催された。

まず最初に府民会議の代表である山田啓二京都府知事より「京都府では、昨年、『薬物乱用のない社会づくり きょうとふプラン』を策定し、府民会議を設立するに至った。関係団体とともに今後この府民会議がますます発展し、京都から薬物乱用者がなくなること期待する」と挨拶。続いて門川大作京都市長より「府民会議の設立に大いに期待している。京都市でも京都府と連携していく」と挨拶があった。

次に主催者の紹介に移り、登壇順に以下の通り紹介があった。

京都府知事 山田 啓二 様
京都市長 門川 大作 様
厚生労働省近畿厚生局麻薬取締部調査課課長 宮島 新 様
京都府警察本部長 西 裕 様

京都府薬物乱用防止指導員協議会会長 奥井 三喜男 様
ライオンズクラブ国際協会335-C地区第1副地区ガバナリー 南 清石 様
京都府薬業団体連合会会長 前川 重信 様
国際ソロプチミスト京都・平安会会長 野々山とし子 様
祝電披露の後、感謝状贈呈が行われ、長年にわたり薬物乱用防止にご尽力され特に功績があった方々に感謝状が贈呈された。受賞者は次の通り。

厚生労働大臣感謝状 萩本 幸作 様
厚生労働省医薬食品局長感謝状 杉本 健一 様・木村 隆一 様

続いて、京都府薬物乱用防止指導員の委嘱式が行われ、各学校における自主的な取組みを進めるために、今回新たに大学等関係者を指導員に委嘱することとなり、35校58名の方々に委嘱状が渡された。

以上をもって式典が終了し、続いて京都府若年層鑑別所精神科医 定本ゆきこ氏による「若年層における薬物乱用問題について」の基調講演が行われた。

「若年層は、大人でもない子どもでもない子どもから大人に移り変わる思春期の時期である。依存と反発が思春期の行動であり、薬物に接近しやすい年代である。周りの大人が依存と自己主張を受け止め、しっかりと二人関係を築き、思春期の子どもたちに対して『あなた』の存在を認めてあげることが大事である。そして、若年層に薬物乱用をさせないために、薬物を作る者がたちに対して断固たる姿勢をとり、薬物は人生や将来に取り返しのつかない禍根を残すということを教え、『あなた』にとつてよき親、隣人、方たちになり、立ち直ろうとしているあなたに暖かいまなざしを向け応援することが私たちにできることである」と講演された。

続いて、ステージでは龍谷大学少林寺拳法部

による少林寺拳法の演舞が行われた。龍谷大学少林寺拳法部は、京都府学生レオクラブのメンバーでもあり、設立総会に当たり大学生によるアトラクションとして特別に出演していただいた。舞台では30名からなる全員での基本の突き、蹴りの演舞に始まり、1人での演舞、1対1の組手による演舞、複数を相手にしての演舞など、約30分間にわたり迫力満点の演舞を披露された。

最後に、きょうと薬物乱用行動府民会議設立にあたり、決意を新たに「NO DRUGS 京都宣言」が行われた。この宣言には、大学生の自主的な取組みを推進するため、335-C地区と京都府が共催して、去る9月25日に開催した「大学生薬物乱用防止教育認定講師養成講座」を受講して誕生した73名の「学生啓発リーダー」を代表して、龍谷大学教田幸士氏により声高らかに力強く行われた。今後この活躍に大いに期待するところである。

今回の府民会議設立総会の開催にあたり、ご尽力いただいた関係者の皆様に心より感謝の意を申し上げます。

地区レオ、青少年指導委員長 吉田和之

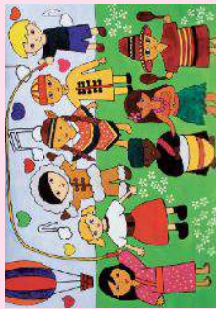




＊第24回国際平和ポスターコンテスト 入賞作品＊

2011 12

最優秀作品 地区ガバナー賞



常盤 綾様
奈良育英小学校 6年



磯部 祐女様
京都市立納所小学校 6年



井上 陸貴様
京都市立伏見板橋小学校 6年

優秀作品 第二副地区ガバナー賞



井上 海月様
甲賀市立伴谷小学校 5年

優秀作品 第一副地区ガバナー賞



安藤 理恵様
京都市立朱雀第一小学校 6年

優秀作品 地区会計賞



加藤 竜一様
京都市立待風小学校 6年

優秀作品 地区幹事賞



安松 日菜様
彦根市立城南小学校 6年



優良作品 ゾーン・チェアパーソン賞



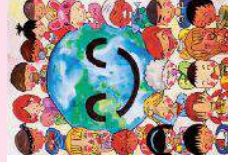
宮田 葉々子様
京都市立南大内小学校 6年



川原 爽月様
京都市立常盤野小学校 6年



吉田 安里様
京都市立高倉小学校 5年



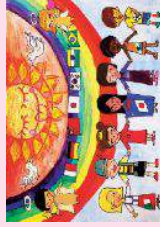
土倉 那菜様
京都市立福荷小学校 6年



安本 颯馬様
京都市立梅小路小学校 6年



岡村 彩貴様
京都市立衣笠小学校 5年



松本 まお様
京都市立明徳小学校 5年



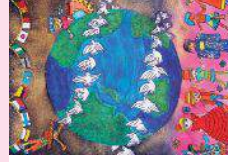
田口 恭香様
京都市立明徳小学校 6年



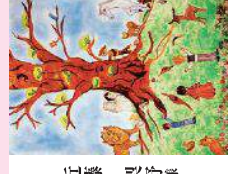
大庭 瑠莉様
京都市立岩倉南小学校 5年



渡辺 真由様
向口市立第三向陽小学校 5年



西 久留美様
咸陽市立寺田小学校 6年



近藤 梨野様
京都市立大宅小学校 6年



衣川 詩帆様
福知山市立成仁小学校 5年



足立 夏江様
福知山市立明正小学校 6年



多賀 優美子様
綾部市立綾部小学校 6年



優良作品 ゾーン・チェアパーソン賞



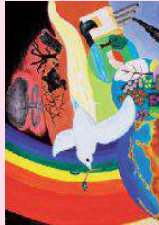
小島 有貴様
奈近江市立聖徳中学校 2年



佐井 愛佳様
甲賀市立伴谷小学校 6年



吉村 優希奈様
甲賀市立店薬小学校 6年



木下 晃輔様
奈良市立青和小学校 6年



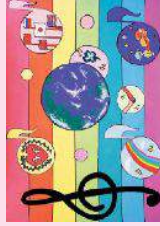
西塔 ふう様
奈良市立椿井小学校 6年



古田 俊様
彦根市立平田小学校 6年



田中 美保様
五條市立智智小学校 6年



植村 留衣様
細原市立八木中学校 1年



辻 このみ様
野洲市立中主小学校 5年



小山 ひなの様
甲賀市立伴谷小学校 5年



佐藤 如月様
甲賀市立伴谷東小学校 5年

優良作品 地区PR・情報委員長賞



努力賞



北村 太二様
木津川市立加茂小学校 6年



松田 祐佳様
京都市立明徳小学校 5年



森 恋音様
京都市立下京渉成小学校 5年



竹之内 香乃様
京都市立待風小学校 6年



宇野 夏実様
京田辺市立桃園小学校 6年



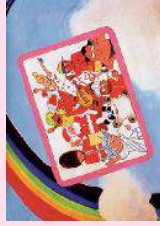
嶋崎 綾乃様
城陽市立久世小学校 6年



廣田 万里佳様
甲賀市立伴谷小学校 6年



田中 茜音様
福知山市立啓明小学校 6年



野中 陽奈子様
南丹市立園部小学校 6年



小島 麻郁様
奈良県立東小学校 5年



濱地 香介様
竜王町立竜王西小学校 5年



森田 桃香様
東近江市立聖徳中学校 1年



宮崎 智己様
智辯学園奈良カレッジ小学校 5年



村田 夏実様
斑鳩町立斑鳩小学校 6年



山岡 優奈様
大和郡山市立郡山西小学校 5年



クラブ便利

「I BELIEVE ～信じる」

会社勤めに邁進して来た私は「イオンスクウェア」のことを耳にする機会が幾度かはあったが、定年を迎え、何れは社会の端、人のために役に立たないとの気持ちから脱却し、ある方の推薦を受け、入会し、11年目を迎えた。この間、私は「イオンスクウェア」の善士活動が、お互いを励みやる心が養われるようになってきたと感じ、唯、1冊の中に光明を与える善士と思っただけであった。

しかし、過去の年間、毎年の国際会議の「方言」は中絶されて会議開催を力説され、会議開催が最大の目的のもとに思えてならなかった。

創設者メル・J・シヨーン氏のあの情熱はなせ伝わってこないのでもないかある事柄に、アジアで初の国際会議「村土」を築いた一説が確になみかえる。彼が、メル・J・シヨーン氏に生前中に「村土」の本部に回信を訪れ、十数年間回信したことが文章に残されていた。このときメル・J・シヨーン氏はすでにこの世を去られたと通達であった。彼がメル・J・シヨーン氏に「お前さんのお前になりましたらどうして今日本でどうとんと誕生してきます。この地獄土の天国に同じ現象が起ることはない。ただお前さんの誕生してしまふ。」と申すに当たって、何となくの返答を「村土」には送れることが出来た。言葉となり、言葉に響きつづかれた。その言葉は「ただ単に教のみが響くことは、私は何の満足も与えません。私の求めることはこれらの地士が善意の人であるということであり、各地域でよりすぐれた立派な人であること何より大切な事です。感言すれば善意の祭ではいくらかの数が埋まっても善に等しいです。質の充実こそ私が最も心を痛めていることなのです。そのためたまに一時的に会員が減少して、あえて善に致すまい。」何と驚愕した信條であろう。何と自信に堪え通れた発言であろう。この言葉を「村土」は「イオンスクウェア」の礎石の礎として活動をし、そして、国際会議まで盛り上げたのであった。

1982年に日本へ「イオンスクウェア」の種がまかれたから別年、発展に発展を続け、その会員は一時17万名強を数えた時もあったが、昨今は10万を切るくらいという現状である。確かに時代の流れはあるものの、メル・

J・シヨーン氏の預備した信條を思い起こし、本邦に善士といふものを育てていくというのを意識するうちに邁進しなくてはならないかと、日本に種をまかれた初期の「イオンスクウェア」の精神に再度回復できれば、数の上で、又「イオンスクウェア」は是れを成すといふ人材が豊富で、「イオンスクウェア」の本邦の善士活動が展開されるに任せ、心もちびり信じてやまわらん。

現在日本において、10万人の会員がすべてこの創設者の情熱を現に手にし、つづいたものに置き換え、昨時最大の善士団体の一員であるといふ誇りを抱き、市民の福祉に支えられる善士活動を行えば、何となく、胸にのびた会員が胸を下して入会を勧誘するといふべく、「イオンスクウェア」を多く理解され、市民の福祉が人々を驚嘆され、我々と共に行動を促し、それにより信じておきます。

「いい、お前さん重大な課題があります。それは、何故会員が来るのか、を深く分析する必要があります。昨年は、全日本において、20万人の新人会員を多く迎えたけれど、しかし残念なことに、一度は胸に「イオンスクウェア」の回数からいって五つ。イオンスクウェアはその目的を「善士を育て、にありませう。果たして我々が求めた善士とは何なのかをばれたのと同じく、善士は人間の心からの熱に燃え持つ人間といふことです。

入会当時大々熱心だった新人会員は「イオンスクウェア」精神や会議制度を教えられるだけで、仕事も責任も背負えられなくて放り投げられ、生きたく自然に変わっていき、入会当時の熱心さも消えたのではないのでしょうか。イオンスクウェアにはその善士について学び、自己研鑽する場が多くあります。現在多くの有識者な建設を構築した善士会員は率先して、この「イオンスクウェア」を知らしめ、全力を挙げて、運営防止に力を注ぐてはあります。

最後に今一度、創設者メル・J・シヨーン氏の可能性を信じたことから世界的組織が生まれたことを強く信じ、勇気と決意を持って行動しようではありませんか。

京都「イオンスクウェア」 村上弘一郎



ライオンズクラブ国際協会335-C地区

「フレッシュ・ライオン・ワークショップ」開催!!

今年クラブのフレッシュメンバー（在籍1年～3年）を対象に「フレッシュ・ライオン・ワークショップ」が10月11日、リーガロイヤルホテル京都で開催されました。

地区ガバナール足達靖彦他、34名の地区役員が見守る中、緊張感いっぱいフレッシュライオン85名の参加のもと開催されました。

今回は、従来のスクロール形式によるセミナーや研修会から一変し、受講者の参加型ワークショップ形式で行われました。

まず、受講者がランダムに指定されたグループに所属し、今まで全く認識のない会員との顔合わせで、会場内は、やや重苦しい雰囲気になっていった。いよいよ、地区幹事八木克之の少林寺拳法で饗された後、ある声と進行で、3時間30分に及ぶワークショップがスタートしました。（休憩なし）

今回の講師は、地区ガバナール足達靖彦が自ら務めるため、挨拶や趣意説明はそこそこには、同じテーブルのメンバーを知る活動からスタートしました。引き続き席を決める活動が行われ、この時間枠になること緊張感もほぐれ笑いが起こるようになりました。緊張感がほぐれたところで、各テーブルで二人一組になり他方紹介を行いました。各テーブルは非常に盛り上がり、笑いと拍手が、あちらこちらで湧きあがって会場の雰囲気は、リラックス感に満ち溢れました。

さて、緊張感がほぐれたところで、本題である「ライオンとしての意識の高揚」の取り組みに移りました。まず道徳係、整理係、回答係、記録係、発表係、土曜係が全員に分担され、活動毎に必要な係りが動くシステムが構築され、これから取り掛かるブレイク

ストリーミングの準備が整いました。

講師による地区ガバナール足達靖彦から色々な質問が矢継ぎ早に出され、用意された短冊に随時に記入し、質問毎にまとめました。質問が終わったところで回答を整理し、記入係を主に帳簿紙に張る作業を行いました。この頃になると全員一丸となった活動となり、本ワークショップの主眼の80%が達成されました。帳簿紙によるボスターの作成が終わり、テーブル順の発表へと移りました。受講者全員が回答した内容が発表され、受講者全員の思いを知る場となりました。引き続き会場一杯になり、参加者が手を握り、腕を組み、ライオンスクラフソングを合唱したところには、最高潮の「和みの場」となり、受講者にとっけ素晴らしい一日となりました。講師を務められた地区ガバナール足達靖彦のリーダーシップに脱帽した次第です。

前、質問の中で否定目的な回答を求めた項目がございましたが、次回開催予定のリーダーシップ研修会の教材として活用いたします。

地区GMI委員長 高野 昭



平成28年「みんなの力で暴力・違法銃器追放」京都府民大会

平成28年10月14日京都テルサホールにて「暴力・違法銃器追放京都府民大会」が開催されました。京都府警察音楽隊・カラーガード隊の演奏によるオープニングではじまり、暴走ヤンキー理事長 高橋孝夫氏の開会のことばで開式されました。挨拶の中には、京都府暴力排除条例施行などの事が盛り込まれていました。引き続き京都府知事山田啓二・警察本部長の挨拶、近畿管区警察局長の祝辞をいただき来賓紹介・個人、団体表彰式が執り行われました。警察本部長挨拶の中には現在の暴力団の構成員の数など具体的な数値で述べられ、暴力団排除を強く述べられていました。第一部の最後には、東山区暴力犯対策協議会会長三好通弘氏の大会宣言で閉式となりました。

地区キャビネット幹事 八木 克之





クラブ便り

奈良西「C」

東日本大震災復興支援チャリティーイベント

東日本大震災復興支援チャリティーイベント『友好都市 多賀城市へ、奈良から元気を送りましょう』を2011年8月15日(水)に開催致しました。

主催：奈良西「C」チャリティ部 後援：奈良市

開催場所：奈良市ならまちセンター市民ホール

奈良出身、奈良在住等、奈良にゆかりのある賛助者さんたちによる落語、歌、腹話術、寄席文芸長演などの楽しく元気なチャリティイベントです。

奈良市との友好都市（2010年締結）の関係にあり、今回の震災で甚大な被害を受けた宮城県多賀城市の復興を支援すると共に、友好都市関係から間やない多賀城市に対しての理解を深めるために開催を致しました。

出演者として、桂まめだ・落語（奈良県磯城郡在住）、桂文樹・落語（奈良市生まれ）、笑龍堂城垣・落語（ならまちで促例会を主催）、橋右左衛門・寄席文芸（奈良市在住）、川松智子・腹話術（奈良市在住）、かくや・歌手（奈良県香取市在住）、雲水坊風之助・アンチエイジング落語・高校教師（奈良市在住）

その他、実際に復興支援に向かれた奈良市職員の方に現地の状況を映像と共に紹介頂きました。

当日、入場頂いた方から復興支援協力金として、お一人3000円をお預かりし、また会場内のチャリティーバザークに頂いた支援金を含め、980450円を多賀城市に送ることが出来ました。

奈良西「C」 上森村 彰博



大和郡山「C」

「上方落語と手話落語の会」を開催

聴かぬをお持ちの方や、手話をされている方、スラスラと話す方々の気持ちを癒す「落し」。

心の復興を願い、お力を癒えると言われる「落し」を、お集まり頂いた皆様と共に楽しみました「落語会」を開催しました。

落語 4席

- ・桂 しのぶ 「連歌屋」
- ・桂 輝也 「天災」
- ・桂 米團治 「鶴わり目」
- ・桂 輝治 「藪入り」

パネルトーク

「上方落語はこころを癒す」
〜笑うことの難しさ〜

パネルー

- ・桂 輝治 氏
- ・桂 米團治 氏
- ・大和郡山「C」会長 鈴木利孝

視力聴力保護・社会福祉・保健委員会委員長

東口義巳



その他の活動

7月22日(金) 『第8回青少年吹奏楽コンサート』開催



クラブ便り

2R合同

2R合同アクティビティ「アイバンクキャンペーンパレード」

本年は例年になく好天に恵まれ、アイバンク愛の光基金総代会 理事長 則武清司様はじめ、335-C地区ガバナー「長瀬清彦」、名誉顧問地区ガバナー「杉山俊」、地区幹事「八木京之」、地区会計「林昌彦」、PR情報委員長「松岡聡」、LCIF・協力ファースト・顧問推進委員長「西浦裕己」を向かへ、パレード参加人数 2R12・78名、2R22・33名、2R32・36名、地区6名、アイバンク愛の光基金総代会より7名、合計161名にグリーン・オレンジ・ブルーの参加マスコットに花を添えていただいております京都明德義塾学校 吹奏楽部の増様、総勢6名で河原町御池より例年のパレードコースとなる四条河原町より四条烏丸へ皇宮通りと終点京子園前まで、キャンペーン横断幕を先頭に、三列縦隊と整然と並びパレードを行ないました。

行進中、京都エコーセンコーリーチャリティ部の皆様は自主整理員としてパレード中、常に気配り頂き事故も無くスムーズに進行して頂きました。

パレード中、コースの中で4箇所の地区において、アイバンクの横断幕、緑用バンフットを市民の前線に配置してもらっていただきました。河原町三条の交差点では、2R12の京都エコーセンコーリーチャリティ部のメンバーが、四条河原町電通駅前では2R22の京都日知正チャリティ部のメンバーが、四条烏丸大丸橋と四条烏丸交差点には2R32の京船団船団川チャリティ部のメンバーがそれぞれ配置され大活躍されました。

今年は、京都府、京都市、又京都新聞社の「後援を頂戴京都新聞社の取材を受けました。今回のパレードが、何れもが希望を京都府警察より平安騎隊隊の2名の騎警警察官様にもご参加頂き、道行く人々の関心を大いに集めていただき盛大にパレードが執り行われた事と想います。

最年に引き、2Rの合同事業として、今後とも発展に継続する事が出来ますように祈ります。又この事業により京都市民の方々に大いなるアイバンク事業の認知が出来たこと大変嬉しく思っております。

最後に成りますが、今回お世話になりました皆様方本当にありがとうございました。

2R12・グリーン・チャリティ部 黒川 恵三





クラブ便り

京都部「C」

Facebookページ作成

京都部フイオンスクラブでは、今年度の浅田委員の「絆」を重要目標に置いて、Facebookページを作成いたしました。Facebookは多くの一般の方々、他のフイオンスクラブからのメンバーを繋ぐ機会となり、双方向きの関係を作り上げていくための最初の目的に沿って動いて行けるものと思えます。これにちぎて、しるしをいへん人脈内を一般に広報する事も可能になりました。Facebook上でホームページと同じ機能を持たせることで、ホームページでは、政見に取り組みたいのめりなつてきました。数多くの方々にアクセスをして頂きたく思いますが、京都部フイオンスクラブ (<http://www.facebook.com/kyoto.nishiki.c>) にアクセスして頂きたく思いますが、8月18日の京都市の市役所前のフイオンスクラブの集まり、今回はFacebookでも行っています。多くの結果が望めることを期待して行きます。

良い絆の結びつきを作りますようにお願い致します。

京都部フイオンスクラブ委員長 秋好 雄二



京都部「C」

「第23回国際血柱山学生会」く 地下鉄一日乗車券協賛

7月23日から7月28日まで計6日の国立京都国際会館で国際血柱山学生会が開催されました。

東日本大震災の発生で日本での開催が危ぶまれ、観光庁や民謡部、京都府等からの協力により京都府内でも開催されました。開催期間中は海外から4000名もの参加者が参加されることとなり、日本の安心安全を世界にアピールする絶好の機会となりました。

そこで京都部は学生会本部や国際会館のニーズを聞き、社会参加者が京都観光を強く意識してもらえることを知り、京都地下鉄一日入を5000枚贈呈することになりました。開会式当日には観光庁長官柳田展光と血柱山学生会長と京都部「C」の代表者との面談の機会が設けられ、地民協団体の京都部「C」からの暖かい歓迎のメッセージにたい感謝の意を表明頂きました。

学生会開催中は京都市内で外国人が特に多く見受けられ、低減する京都の外国人観光客活性化にも協力できたと思えます。



近江守山「C」

カキツバタ植栽地奉仕 「環境事業の方向を探る」

近江守山フイオンスクラブの環境事業は、遺跡、湖沼の整備、被害樹木の管理とその維持、地、河川の清掃及び環境の整備、環境調査（みちのく）（国土交通省の民間委託事業）、地味市民の森植樹、山間地の開発、のり面の整備、そして田川河川公園でのカキツバタ植栽地維持管理、地味カールスクリュー、ホームページなどの花壇維持や巡回作業、時々の要請に応じ奉仕をしてきています。土地、広域、植物、魚は、想定外の事も多く発生し、歴代のコミュニケーション委員会（環境事業担当）のメンバーが対応に苦慮してきています。

7月16日（土）は、今期初の土曜委員のやる気「ふんばり」の文字」に動かれたり名のメンバーが田川河川公園に参集した。「環境の郷」（琵琶湖と守山から湖にそそぐ河川を守る時400名近い方々が参加している）の方々と土曜委員の「清掃（カ）」「ヒン」「フイオンスクラブ（守山）」を同時に進めており、30日の委員の日中、除草作業は8時から15時の時刻には、おちおちとカキツバタが咲き始める初夏（このころ）美しくなりました。小林委員の挨拶、土曜委員の趣意の言葉に、今年一年に懸ける意気込みが伝わってきました。これからは市民の方々に喜んで頂ける環境への取り組みを遂げていくべきだと思います。

近江守山フイオンスクラブ

土曜委員 南井 繁樹



宮津部「C」

宮津フイオンスクラブ旗争奪 「宮津・与謝地方の年少野球大会」

第1回大会（昭和54年8月）は、当クラブの青少年育成事業の一環として、宮津市・与謝郡の小学生を対象に年少少女の体力増強と社会性を養うと並び技術の向上を図る目的として開催されました。今年で22回目を迎えた大会は、8月6日（土）・7日（日）の2日間と戦いが繰り広げられました。開会式では、地元のフイオンスクラブに挨拶され、15チームの選手が高校野球選手との揃っての入場行進、選手宣誓、そして投球式等観戦に楽しめた様子を伺います。開会式のあつた後も応援されたと思えます。とても暑い2日間でしたが、宮津球場で試合ができたのはとても野球に対する熱心が伝わってききました。優勝・準優勝の選手には、記念メダルが授与され、その実力が感動的でした。フイオンスのメンバーも数人から3日間とすごしました。特に永瀬は、バックスイングのスピードに選手の間でもよく、ただただ手を動かすばかりでいていただけでした。これからの事業を確立して後継者の育成に力を尽くすことを決意して行きます。

選手 豊田



その他の活動

- 2010~2011年度「献血奉仕総括」
- 7月3日（日）「瀬川川花（いかに下り）」
- 7月8日（土）「第14回 中学生広域」私の県」2011「守山大会」
- 7月14日（木）「2011~2012年度スタート例会」
- 7月28日（木）「2011~2012 献血スタート例会」

その他の活動

- 8月4日（木）「例会・宮津フイオンスクラブ 夏の会」フイオンスクラブ



クラブ便り



ついでに

京都洛西「C」

第30回「京都洛西ニイオンスクラブ旗杯争奪
少年ベースボール大会」

9月18日(日)天気予報は「雨模様、グラントは前日の雨で水撒きが不要。絶好の秋晴れの下、16チーム・350名の選手入場が始まった。本部前を通るチーム紹介、選手の掛け声はイッソーイッソーと元気はあるが、少々上がり気味。手と足が左右同時だ。

宗徳「今ね葉枝「旦那に怪我がなにもないで帰ってくだされ、……」
 頼子「うん・」・ホトホト・」・「旦那の葉枝「お礼言してくだされ、
 旦那の急病の心配がなにもないで済む……」の後、前住の徳勝齋
 屋敷と頼子と頼子「旦那様と叶はれ……」・「旦那様は元々お女は
 旦那に嫁にやり嫁に……。これこそ旦那に嫁に……。旦那様は元々お女は
 旦那に嫁に嫁に……。旦那様は元々お女は……」・「旦那様は元々お女は
 旦那に嫁に嫁に……。旦那様は元々お女は……」・「旦那様は元々お女は

「我々メロヘーも毎朝開いたのはるが、本道に懸かることなぐ、寧ろ
と成り遂げる子供たちに懸心し、この大空に懸義を感じます。この
大空は羽のうしろ風生記帳に立ち上りて生じた羽回を垣まごころにた
まほした。

いよいよ第一回戦の夜も、今度こそ今村の始球式。開球前にサウ
スホールド 總司の田妻なくんバントの投球、それでも打返さずま
ぐり返りをしやうと三ノ一を盛り上げてくれました。この大会が例年
々々かに続いてきたのは、役員の方々のたゆまぬ努力の功績です。
その意義性にも感謝し、今後とも書り生産の一助として我々京都
造西のイオンズクラブにも来承してこの大会を継続する予定です。

3535N 埃倫斯堡市內之木乃伊墓穴



大和礎城LC

CN35周年 集合写真



毎日の生活

樂果「C」

第22回 青少年健全育成教育講演会
「いのちの花をさかせよう」

夏休み期間中の8月4日、愛荘町立バーティセナター養護で地域の中学1年生約340人に「いのちの花を咲かすまち」と呼びかけました。本年度は結成40周年記念事業とし、真珠水谷流傳館でシンガー・ソングライターの鈴木高代さんをお招きし、キターの演奏練習を披露しました。

講演の中で、青語話人の金子みすゞの詩を引用して「人はなれた煙の
しらとり」詩のくち田舎のくちと田舎の煙の一面やきばに散むくち
人があゝ」を以て黒田本大蔵炎を以て紙に「命の煙」と強調されたま
した。「くち田舎の中であなただけにのみくちの出来たる命の花を咲か
せてくれたら」を締めくくられました。この二つでは田舎を全篇から感嘆
文を舞集し、学校一点の優秀作品と同一点の佳作を選んで今後の参考に
します。



京 都 城 南 LC

ちひまも掘り大会

10月2日(日) 爽やかな秋の好天に恵まれ、今年も「第14回手掘り大会」を開催致しました。

市内から所の福祉施設から90名とマイオへの関係者の総勢180名で、
園生、保護者、先生方、地区役員、4Rの2名よりウツアの会長・幹事と
な並びに京都城南JCCのメンバー、JCC、JCC、参加者みんなが重心に
かえつてたつまいも踊りをたぐりさんの笑顔の中で楽しみました。

今年からこの皆さんの協力で採りたてを擲りたての市もをうたがれ
 ねじだ。

「福祉施設を代表して北澤川福祉の園取組むおれの言葉を頂戴。」と、
 ドレイヤーン・メイ（Dorothy May）の精神を以て、メ
 イバー・ウェセレイブをわがはしとして、く事を心に懸つたことにな
 る。



友好・PR委員長 中谷清徳

いもほり風景

アイバンク愛の光基金管理会トピックス

1. 第3回 今泉賞受賞

平成19年は、わが国で健眼による最初の角膜移植手術が行われてから50周年にあたり、これを担当した岩手医大名誉教授の今泉亀藏先生が19年度の保健文化賞を受賞されました。

今泉氏は、その賞金の大部分を日本アイバンク協会に寄付され、それを受けて協会では、先生の多年に亘る貢献を記念して「今泉賞」を設定しました。

この賞は我々アイバンク活動に携わる者にとっては、言わばノーベル賞とも文化勲章とも言える名誉ある賞で、今回我々管理会の永年に亘る地道な活動と成果が認められ『アイバンク活動の推進に著しい貢献をした団体』として受賞しました。

授賞式は7月15日（金）に東京国際フォーラムで行われ、則武理事長と岡本専務理事が出席しました。ライオンズクラブの力強いご支援に感謝致します。

2. 平成22年度事業及び決算報告

イ. 事業報告

- ① 地区内4アイバンクへ助成金700万円の贈呈と意見交換会の開催 (10.11.15)
- ② 第27回アイバンクシンポジウムの開催 (11.2.19)
- ③ 第13回「愛の光感謝の集い」の開催 ((11.3.27)
- ④ 機関誌「愛の光」vol.20 25,000部の発行 (11.3月上旬)
- ⑤ 京都・読売両紙に啓発広告の掲載 (10～6月偶数月に約180回)
- ⑥ その他
 - ・公益信託基金に100万円の追加信託
 - ・募金活動やその他、様々な啓発活動の実施とアイバンク例会への講師派遣 (計30クラブ)

ロ. 決算報告

① 収入	335-C地区援助金及び一般寄付	5,749,902
② 支出	事業費 (公益信託基金分を含む)	12,085,746
	運営費	3,903,581
③ 収支	(差引不足金)	10,239,425
※	不足金につきましては信託基金を取り崩して充当しています。	

3. 多額のご支援を頂き有り難うございました。(クラブ及び個人ご芳名)

前年度未報告分 (2011.5.1～6.30)		今年度分 (2011.7.1～10.10)	(敬称略)	
(クラブ)	京都烏丸	200,000	(クラブ)	京都西
	奈良	116,406		京都華頂
	草津	65,070		京都平安
	京都桃山	32,014		京都東
	京都	30,000		京都京洛
	奈良ライオネス	30,000	計	¥765,219
	大和郡山	18,591	(個人)	
	京都西の丘	14,755		広瀬米三 (京都紫明)
	京都ロイヤル	14,754		岡本鏡店 (岡本喜久雄京都平安)
計	¥621,590			田島博昭 (京都桃山)
			計	¥110,724
				100,000
				7,724
				3,000

新会員の紹介

おめでとうございます

L. 網田 知邦
(S. 44年2月8日生)
京都・C
アマミタ
代表取締役社長
総合免状店

L. 塩見 淳
(S. 39年12月24日生)
京都・洛南・C
株式会社 デー・エス・エス・エス
代表取締役
自動車整備業

L. 加茂 智雄
(S. 35年8月1日生)
京都・賀茂・C
株式会社 山田山田
代表取締役社長
印刷・出版・メディア・広告・映像

L. 青野 仁志
(S. 33年6月19日生)
京都・堀川・C
京都市会議員
特別地方公務員

L. 藤浪 渡
(S. 36年7月3日生)
京都・華頂・C
株式会社 アイ・エフ・パーク
代表取締役
立体駐車場関連

L. 勝田 恵美子
(S. 31年10月29日生)
京都・南・C
株式会社 勝田
代表取締役・女将
調理師・和食・料亭

L. 中島 幸博
(S. 41年11月27日生)
京都・洛南・C
株式会社 すまい
代表取締役
不動産業・建設業

L. 高山 修史
(S. 52年1月31日生)
京都・賀茂・C
株式会社 山田山田
代表取締役
建設業

L. 村田 彰信
(S. 45年3月12日生)
京都・東・C
株式会社 ムラタ
代表取締役社長
印刷業

L. 荒木 勝己
(S. 40年7月13日生)
京都・華頂・C
株式会社 アイ・エフ・パーク
代表取締役
印刷代理業

L. 牧 和也
(S. 49年1月18日生)
京都・南・C
株式会社 ULTRACORP ASIA Ltd.
代表取締役社長
貿易・海外・コンサルティング

L. 岡本 宏平
(S. 50年7月8日生)
京都・洛南・C
株式会社 三谷
代表取締役
化学工業製品の製造・販売

L. 早川 八須彦
(S. 37年12月19日生)
京都・堀川・C
株式会社 ソフトコム
代表取締役
マーケティング

L. 秋山 就一郎
(S. 48年8月8日生)
京都・東・C
株式会社 フォックス・ジャパン
代表取締役社長
保険代理業

L. 田口 和樹
(S. 37年9月15日生)
京都・洛中・C
株式会社 わがは
代表取締役
会計事務所

L. 高橋 徹
(S. 43年3月16日生)
京都・京洛・C
株式会社 たかほし
代表取締役
眼科医

L. 衣川 勝利
(S. 38年5月20日生)
京都・堀川・C
株式会社 衣川
代表取締役
和食料理店

L. 上中 康司
(S. 37年8月6日生)
京都・みやこ・C
株式会社 上中
代表取締役
アパレル・ファッション・雑貨・食品・飲料・化粧品・美容・医療・不動産・建設・住宅設備

L. 竹岡 尚三
(S. 35年12月21日生)
京都・西・C
株式会社 竹岡
代表取締役社長
組込ソフトウェア開発

L. 谷口 寿幸
(S. 48年11月17日生)
京都・堀川・C
株式会社 寺町
代表取締役
飲食業

L. 岡野 留夫
(S. 34年2月28日生)
京都・華頂・C
株式会社 岡野
代表取締役
飲食業




Ｌ竹内 千里
(S.31年8月2日生)
京都むらさき・Ｃ
㈱レールセルセ・キュリティ
代表取締役



Ｌ青木 恵子
(S.38年8月6日生)
京都むらさき・Ｃ
キリンビル株式会社
主任



Ｌ岡本 勝一
(S.12年12月2日生)
城陽・Ｃ
㈱社会保険労務士事務所
顧問
社会保険労務士



Ｌ秋田 修
(S.18年3月27日生)
城陽・Ｃ
秋田司法書士事務所
所長
司法書士



Ｌ山本 茂
(S.40年2月15日生)
城陽・Ｃ
山本瓦店
代表者
屋根工事



Ｌ古武 和芳
(S.49年4月3日生)
京都洛中・Ｃ
株式会社 武和だけ工房
取締役
不動産取引業



Ｌ田中 真琴
(S.53年12月22日生)
京都洛中・Ｃ
株式会社 タナカ
取締役
店舗設計施工



Ｌ谷口 喜則
(S.31年8月15日生)
京都紫明・Ｃ
株式会社 アシスト
代表取締役
個別仕入れ・リース・レンタル



Ｌ川本 誠治
(S.34年9月29日生)
京都ロイヤル・Ｃ
株式会社 サン工房
代表取締役
建築業



Ｌ前田 竜哉
(S.37年11月21日生)
京都ロイヤル・Ｃ
KEEPER
店主
生保・損保代理業



Ｌ伊藤 康彦
(S.37年4月16日生)
京都やわ・Ｃ
㈱おひざり・コ・サント
代表取締役
測量・設計



Ｌ松下 真蔵
(S.48年5月29日生)
京都やわ・Ｃ
共同土地㈱
専務取締役
不動産業



Ｌ山本 明
(S.26年8月8日生)
京都やわ・Ｃ
山本創
代表取締役
不動産業



Ｌ高橋 広行
(S.36年9月2日生)
京都やわ・Ｃ
株式会社 高橋建設
代表取締役
建築業



Ｌ高橋 明男
(S.46年8月26日生)
京都やわ・Ｃ
高橋興産㈱
代表取締役
建物解体業



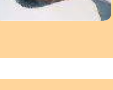
Ｌ内藤 淳
(S.46年8月15日生)
京都ロイヤル・Ｃ
㈱会社 アパロ・サービス
取締役
建築業



Ｌ松崎 大輔
(S.49年6月8日生)
京都ロイヤル・Ｃ
庭 松崎
代表
建築業



Ｌ村山 隆亮
(S.54年5月28日生)
京都ロイヤル・Ｃ
村山建築
代表
内装業



Ｌ田中 昌輝
(S.43年6月5日生)
京都バレル・Ｃ
空水治療院
院長
鍼灸・リハビリ・マサージ



Ｌ吉田 誠
(S.49年11月28日生)
京都バレル・Ｃ
株式会社NSA
取締役社長
警備・セキュリティ



Ｌ木村 亘宏
(S.51年11月15日生)
京都やわ・Ｃ
株式会社 木元
代表取締役
新建材・木材販売



Ｌ角田 琢朗
(S.55年9月26日生)
京都やわ・Ｃ
株式会社 トライアールホーム
代表取締役
不動産・コンサルティング



Ｌ吉田 寛子
(S.25年4月4日生)
宇治・Ｃ
㈱宇治市立運送
代表取締役
運送業



Ｌ山田 倫也
(S.35年4月5日生)
京都烏羽・Ｃ
㈱ディハバーゴルフクラブ
代表
ゴルフ



Ｌ上田 正雄
(S.23年3月20日生)
京都城南・Ｃ
フック・アンド・ロー・エヂ
代表
紳士服・靴・アクセサリー



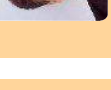
Ｌ小林 妙子
(S.23年12月25日生)
京都嵐山・Ｃ
ジョー・サービス
店主
サービス業



Ｌ中西 裕子
(S.26年2月9日生)
京都嵐山・Ｃ
料理旅館 八丁代
代表
旅館業



Ｌ猪澤 伊知郎
(S.37年6月9日生)
京都乙訓・Ｃ
サトル・興業 京都乙訓工場
代表取締役
ビール製造業



Ｌ安田 守
(S.40年7月7日生)
京都乙訓・Ｃ
京都府議会
京都府議会議員
京都府議会議員



Ｌ能勢 昌博
(S.41年2月19日生)
京都乙訓・Ｃ
京都府議会
京都府議会議員
京都府議会議員



Ｌ村上 仁
(S.39年8月17日生)
京都城南・Ｃ
冷油食品 株式会社
代表取締役
食品卸



Ｌ細川 譲二
(S.39年8月25日生)
京都城南・Ｃ
新樹建設工業
代表
一般土木業



Ｌ横山 喜久男
(S.47年6月15日生)
京都城南・Ｃ
株式会社 ココマ
代表取締役
人材派遣業



Ｌ落合 稔
(S.50年11月8日生)
京都城南・Ｃ
株式会社 クレエーション
代表取締役
ビルメンテナンス



Ｌ明田 樹根
(S.55年6月8日生)
京都城南・Ｃ
サカグチ・デザイン
代表取締役
印刷・写真・グラフィック



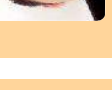
Ｌ中村 員也
(S.35年1月23日生)
京都嵐山・Ｃ
㈱中村屋
代表取締役
食料販売



Ｌ山本 隆
(S.24年6月8日生)
京都桃山・Ｃ
株式会社 昇電社
代表取締役
機・電子・エレクトロニクス



Ｌ森 容伸
(S.34年5月16日生)
京都桃山・Ｃ
京都府都市市場株式会社
代表取締役
食料卸



Ｌ振本 一
(S.41年3月18日生)
京都桃山・Ｃ
皆幸一番 株式会社
代表取締役
広告代理業



Ｌ福井 孝和
(S.22年5月29日生)
京都桃山・Ｃ
㈱エテルナ
専務取締役
不動産業



Ｌ法貴 隆三
(S.14年2月14日生)
亀岡・Ｃ
株式会社 三城産業
代表取締役
亀岡運動公園 支配人
会社員



Ｌ大津 一則
(S.22年2月12日生)
亀岡・Ｃ
株式会社 アイ・オー・テック
代表取締役
電子機器製造



Ｌ三浦 央時
(S.33年10月12日生)
亀岡・Ｃ
三浦家畜診療所
所長
獣医師



Ｌ大道 秀男
(S.25年3月21日生)
亀岡保津川・Ｃ
都らびふ だいどう
代表者
家庭用電器製品小売業



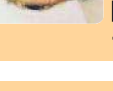
Ｌ小林 勝
(S.30年4月1日生)
宮津・Ｃ
三協印刷㈱
代表取締役
印刷業



Ｌ大矢 進
(S.50年11月13日生)
京都桃山・Ｃ
有限会社 オーマック
代表取締役
印刷・写真・グラフィック・写真・代印



Ｌ西田 裕之
(S.35年11月13日生)
京都洛東・Ｃ
㈱西田製作所
代表取締役
金属加工



Ｌ岡田 治樹
(S.50年11月13日生)
京都洛東・Ｃ
㈱インサイトハウス
代表取締役
不動産業



Ｌ阿蘇 和代
(S.52年7月7日生)
京都むらさき・Ｃ
大阪女子短期大学
講師



Ｌ杉田 鈴子
(S.49年5月29日生)
京都むらさき・Ｃ
公社地産人京都府商協
常任理事





小西 哲也
(S. 35年7月29日生)
滋賀銀行 守山支店
支店長
金融業

西藤 崇浩
(S. 36年12月16日生)
滋賀銀行 草津支店
支店長
金融業

村岡 孝浩
(S. 35年7月28日生)
関西アーバン銀行 草津支店
執行役員 草津支店長
金融業

柴野 美和
(S. 36年12月8日生)
カラオケハウス「葵」
店主
自営業

石田 直規
(S. 28年5月26日生)
株式会社 シマダ
代表取締役社長
サービス業

田邊 善司
(S. 31年1月8日生)
株式会社 エネジャ
代表取締役
燃料販売及び住宅設備

藤原 正博
(S. 25年8月1日生)
藤原歯科医院
医師
歯科医師

谷口 正
(S. 25年5月27日生)
新木産業 能登川事業所
総務部長
物産事業

富波 義明
(S. 29年8月12日生)
滋賀県議会
県議会議員
議員 特別地方公務員

金田 周也
(S. 39年11月5日生)
関西電子株式会社
代表取締役社長
電子、アルミ加工・販売

伊谷 正昭
(S. 19年1月22日生)
森野設計事務所 愛知支部
専任 建築設計業

井阪 尚司
(S. 28年10月2日生)
滋賀県議会議員
議員 特別地方公務員

堀江 清一郎
(S. 26年2月18日生)
日野川議会議員
議員 特別地方公務員

坂田 彰
(S. 34年11月18日生)
能登川議会議員
議員

田口 加代子
(S. 32年7月11日生)
ジェリア
店主
飲食業

川平 貢永
(S. 29年1月11日生)
東近江警察署 愛知警察支部
所長 警察官・警部

辻 孝志
(S. 26年1月13日生)
愛知市 (愛知市民館)
館長 (嘱託)

宇野 太佳司
(S. 26年1月3日生)
滋賀県議会議員
議員 県議会 特別地方公務員

北川 幸子
(S. 25年9月10日生)
居酒屋 どんぐり
店主
飲食業

宮野 武雄
(S. 32年11月24日生)
中島商事
代表取締役
縫製業

山本 吉治
(S. 29年2月22日生)
岡山本工務店
代表取締役
建築業

秋田 一進
(S. 41年3月11日生)
アサヒビール 能登川支店
支店長
酒類・清涼飲料水の製造・販売

小島 浩
(S. 36年4月8日生)
角昭和レジン
代表取締役
防水・塗装工事業

富森 幸昭
(S. 26年10月24日生)
医療法人 富森会 富森眼科病院
理事
医療法人 医事

辻 清隆
(S. 32年9月9日生)
滋賀中央信用金庫 能登川支店
支店長
金融業

吉田 幸作
(S. 30年2月18日生)
南都銀行
常務取締役 能登川部長
金融業 (銀行)

木村 義勝
(S. 24年5月8日生)
NPO法人 みつわ会
理事長
障害者福祉サービス業

横谷 和也
(S. 37年12月15日生)
株式会社 南都銀行 能登川支店
支店長
金融業

谷野 浩重
(S. 35年11月21日生)
往馬大社
宮司
神職

藤井 茂久
(S. 36年8月1日生)
フジイ法律事務所
所長
弁護士

木村 利彦
(S. 35年7月23日生)
能登川銀行 高取支店
支店長
金融業

幸脇 光弘
(S. 51年7月26日生)
五條 L-C
幸脇石材店
石材販売

清水 学志
(S. 43年7月26日生)
清水電気設備
代表
電気工事

吉田 金七
(S. 36年2月15日生)
株式会社 吉田運輸
代表取締役
運送業

奈良西 L-C
(S. 36年2月15日生)
株式会社 吉田運輸
代表取締役
運送業

ご冥福をお祈り申し上げます

堀村 清藏 (S. 32年8月15日生) 京都市川 LC 享年60才 ライオン歴 入会 1964年 会計 1966年 会 1980年 幹事 1981年 会長 1988年	野村 徹夫 (S. 29年8月5日生) 京都市野 LC 享年62才 ライオン歴 1998～1999年度 クラブ幹事 2004～2005年度 地区エクステンション委員 2007～2008年度 クラブ会長	谷山 吉三郎 (S. 23年8月3日生) 京都 LC 享年101才 ライオン歴 入会 1970年3月 1971～72年度 ライオンチーマー 1975～76、1976～77年度 理事 1981～82、1982～83年度 理事	笹嶋 進 (S. 29年7月9日生) 京都川 LC 享年73才 ライオン歴 入会 1999年 会計 2006年
田島 博昭 (S. 29年10月3日生) 京都川 LC 享年70才 ライオン歴 入会 1986年 1989～1990年度 会長 2009～2010年度 第48代 会長	小林 寛明 (S. 23年8月26日生) 宇治 LC 享年74才 ライオン歴 1989～1990年度 会長 1997～1998年度 地区視力ファースト アイババンク委員長	根本 浩介 (S. 23年8月26日生) 京都川 LC 享年87才 ライオン歴 1965年 入会 (チャーターメンバー) 1989～1993年 会長 2006年 終身会員	福井 駿二郎 (S. 23年8月16日生) 奈良セントラル LC 享年77才 ライオン歴 1966年 地区アパレル委員 1997年 地区アパレル・地区視察委員 2002年 クラブ会長 2004年 8 R リジョニングアパレル

[illegible]

ディラント山京株式会社	
大手筋営業所	〒612-8363 京都市伏見区納屋町124番地2 TEL 075-621-0350 FAX 075-621-0065
槇島営業所	〒611-0041 宇治市槇島町十一-49番地4 TEL 0774-20-5115 FAX 0774-20-5225
伊藤産業株式会社	
	〒612-8135 京都市伏見区向島渡シ場町8 TEL 075-611-4554 FAX 075-611-4554

